

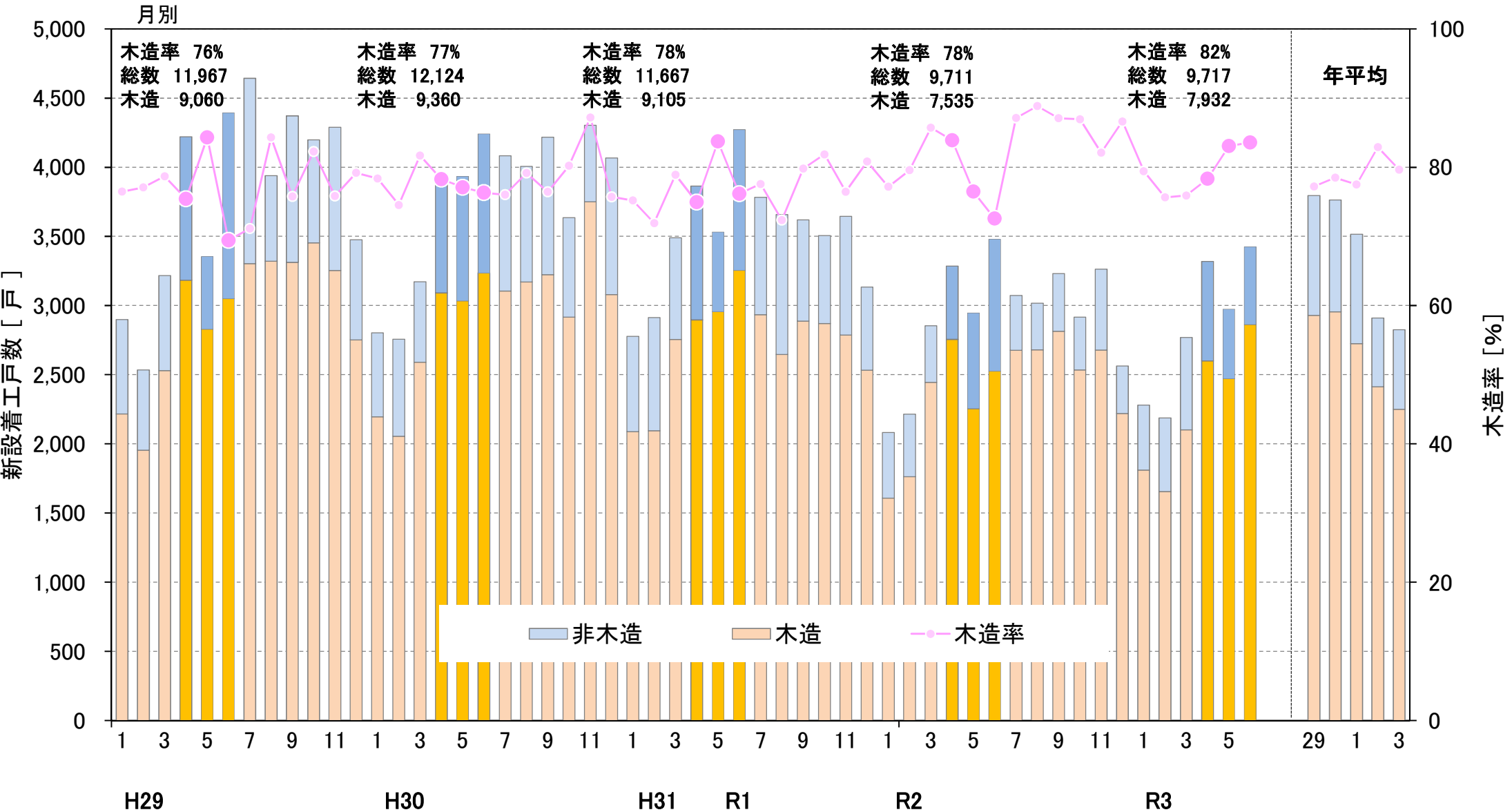
東北森林管理局管内の 木材需給及び木材価格等について

令和3年9月16日(木)

東北森林管理局

■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数の推移（平成29年1月～令和3年6月）

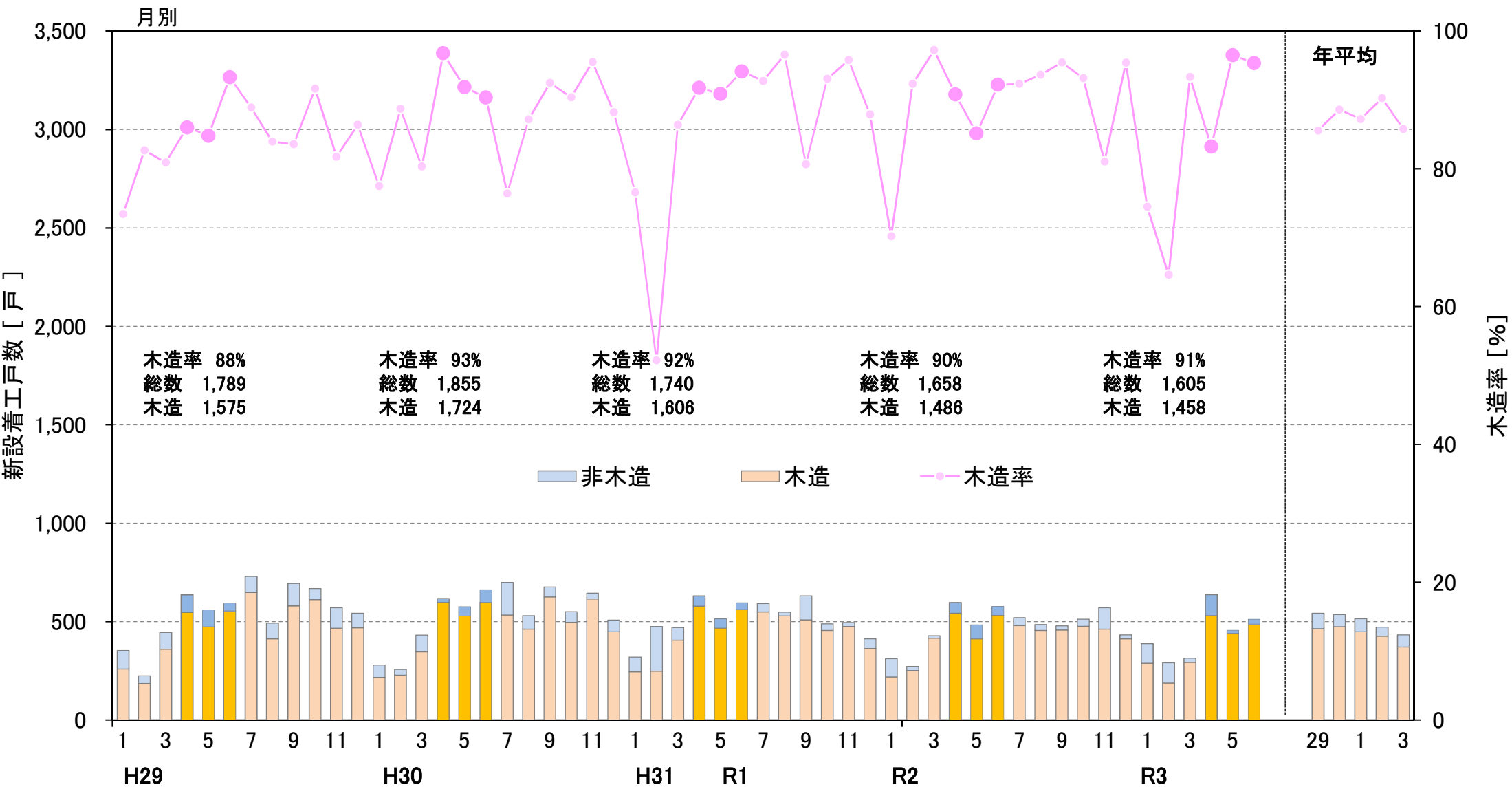
○ 東北5県の令和3年度4～6月期の新設住宅着工数は、昨年同期より6戸増加した。
 この期間の木造は昨年同期より397戸増加し、木造率は4%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 青森県の新設住宅着工戸数の推移(平成29年1月～令和3年6月)

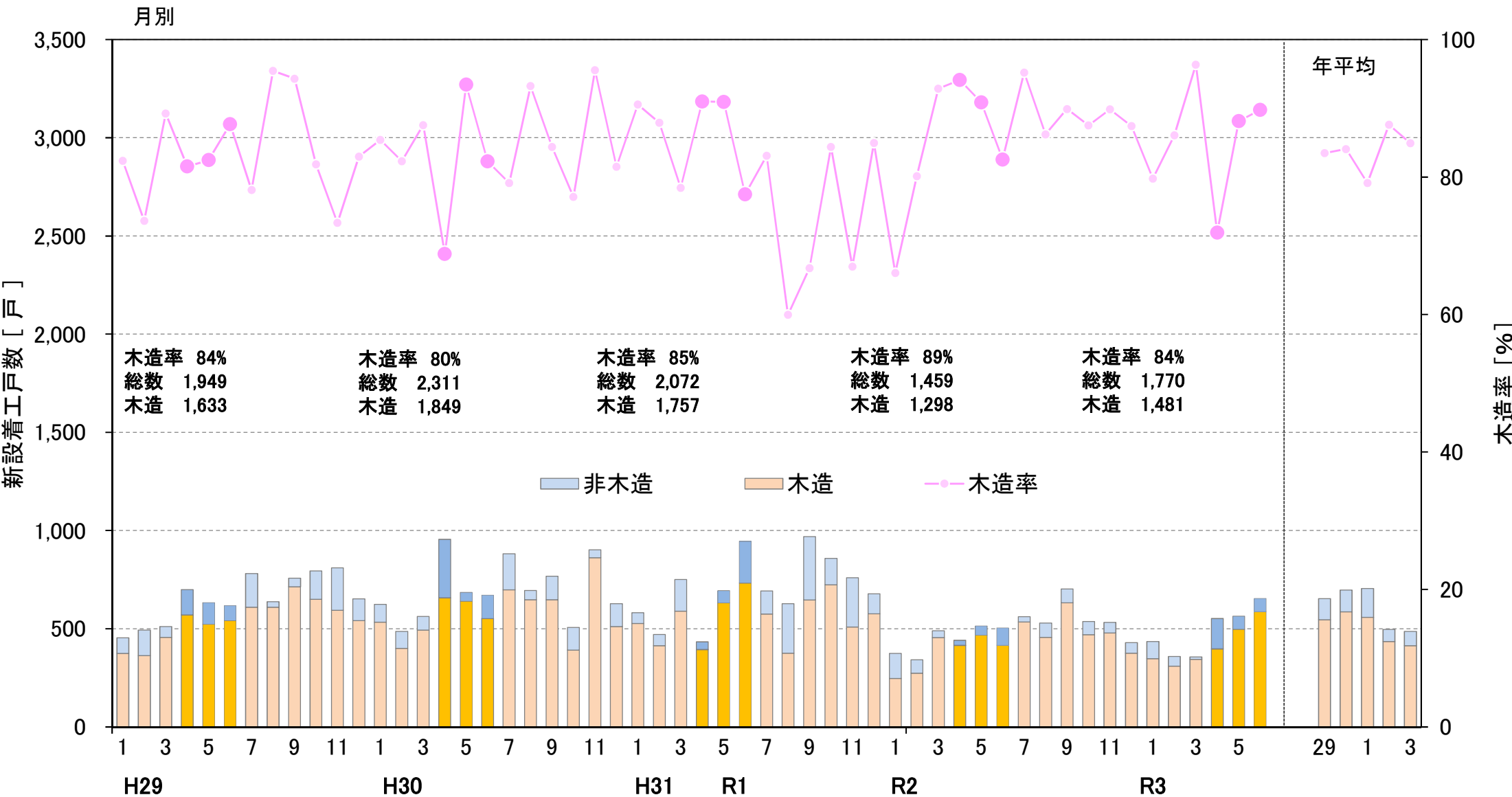
○ 青森県の令和3年度4～6月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より53戸減少した。
 この期間の木造は昨年同期より28戸減少し、木造率は1%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 岩手県の新設住宅着工戸数の推移(平成29年1月～令和3年6月)

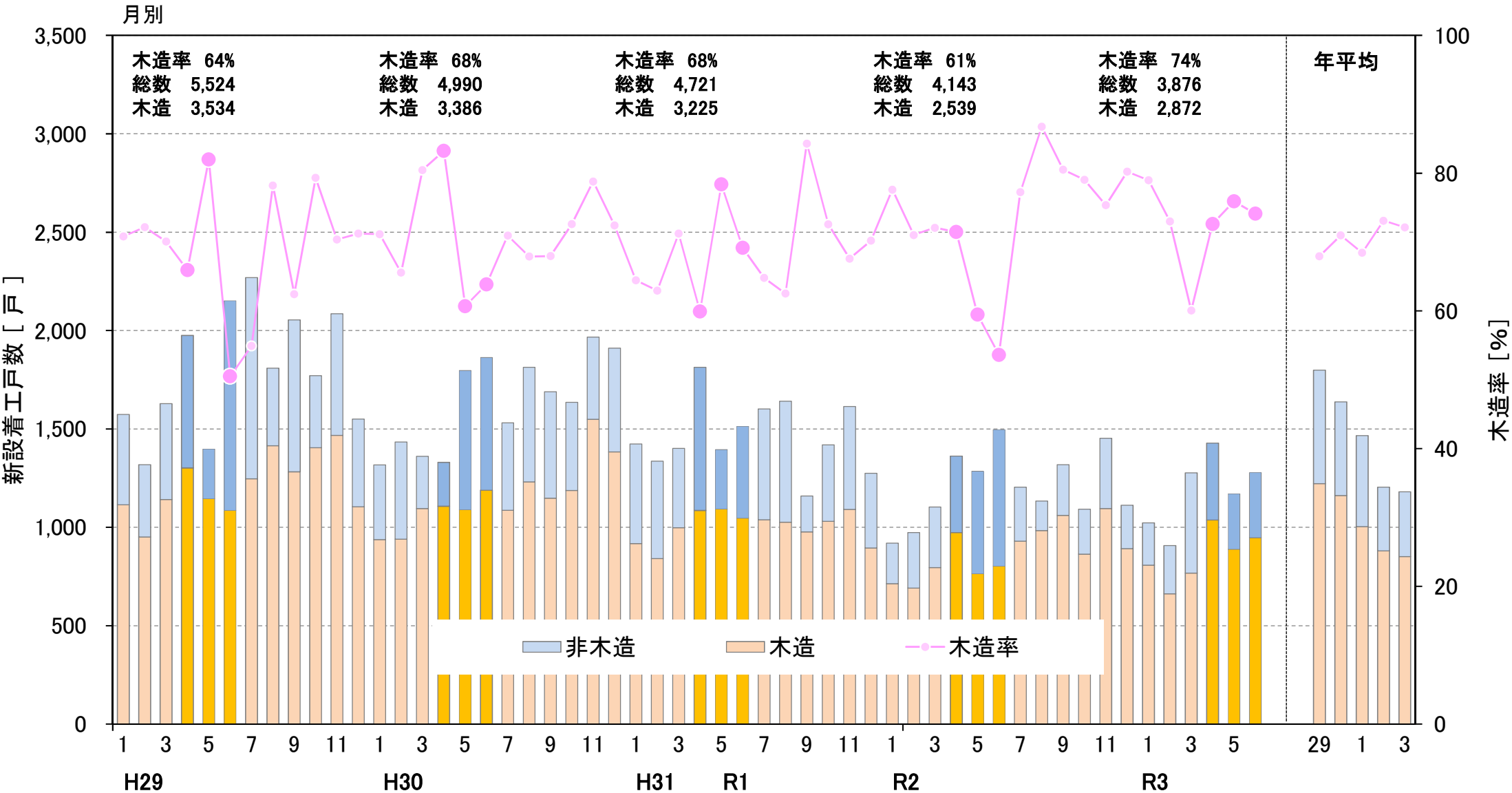
○ 岩手県の令和3年度4～6月期の新設住宅着工数は、昨年同期より311戸増加した。
 この期間の木造は昨年同期より183戸増加し、木造率は5%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 宮城県の新設住宅着工戸数の推移(平成29年1月～令和3年6月)

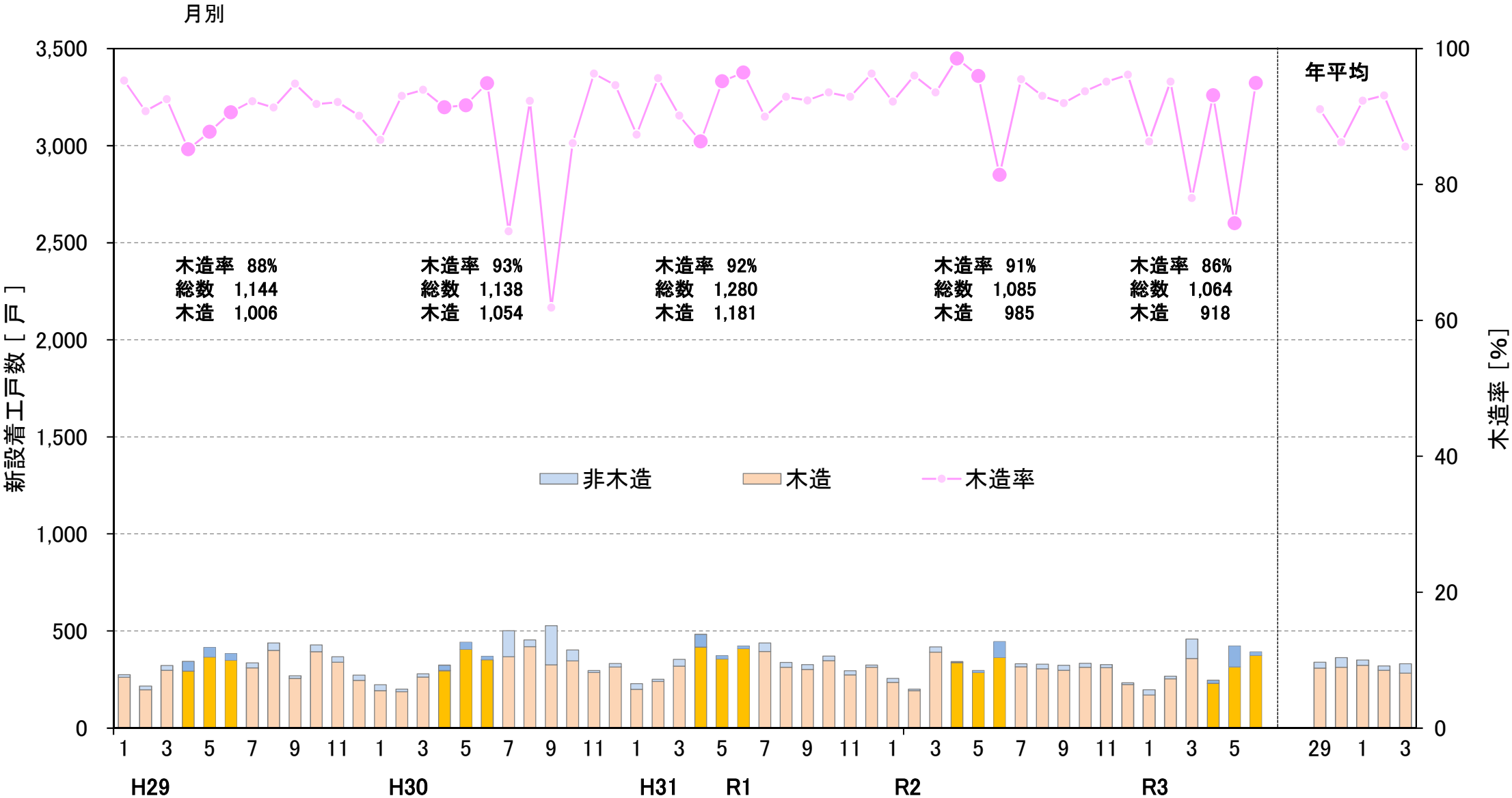
○ 宮城県の令和3年度4～6月期の新設住宅着工数は、昨年同期より267戸減少した。
 この期間の木造は昨年同期より333戸増加し、木造率は13%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 秋田県の新設住宅着工戸数の推移(平成29年1月～令和3年6月)

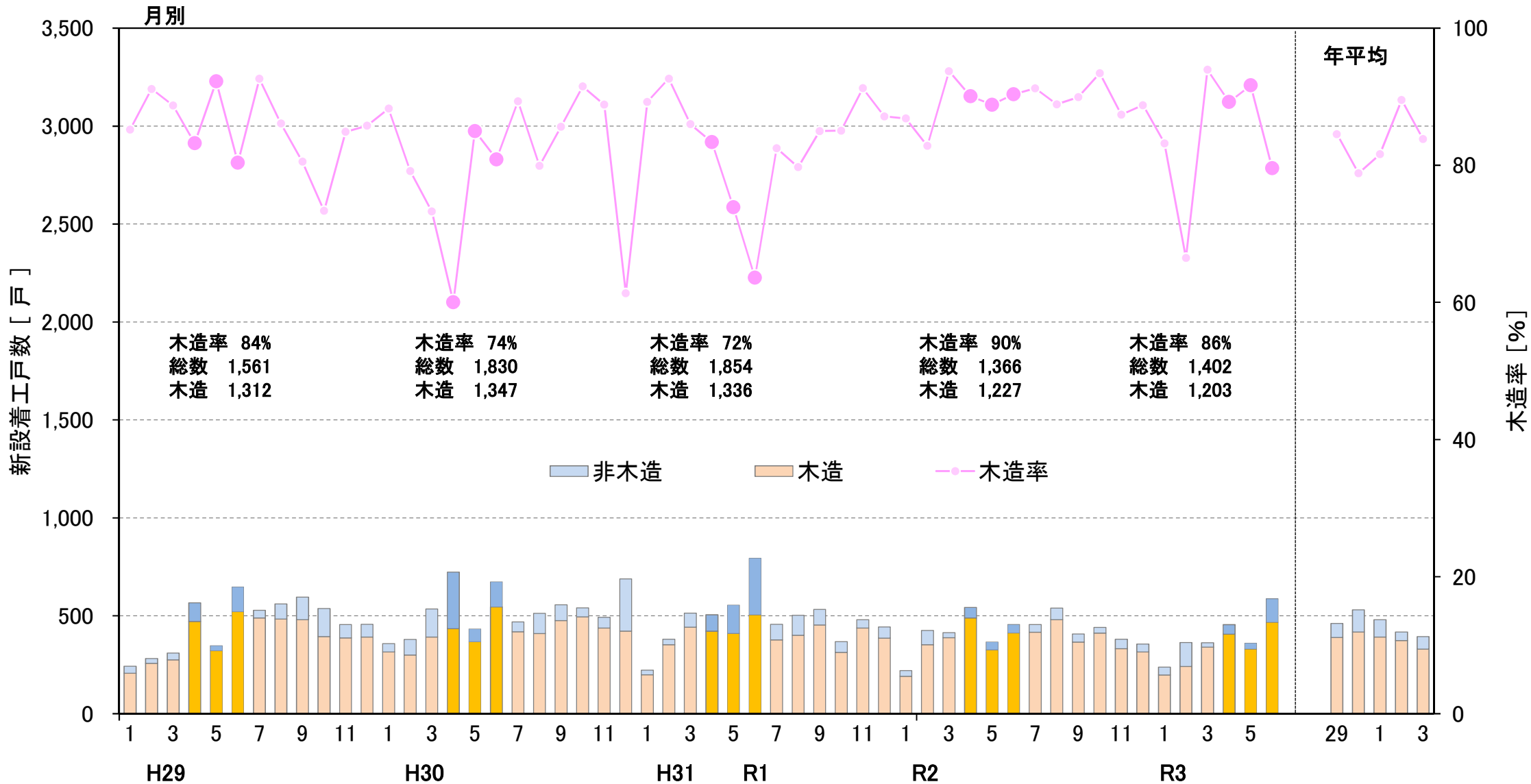
○ 秋田県の令和3年度4～6月期の新設住宅着工数は、昨年同期より21戸減少した。
 この期間の木造は昨年同期より67戸減少し、木造率は5%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

山形県の新設住宅着工戸数の推移(平成29年1月～令和3年6月)

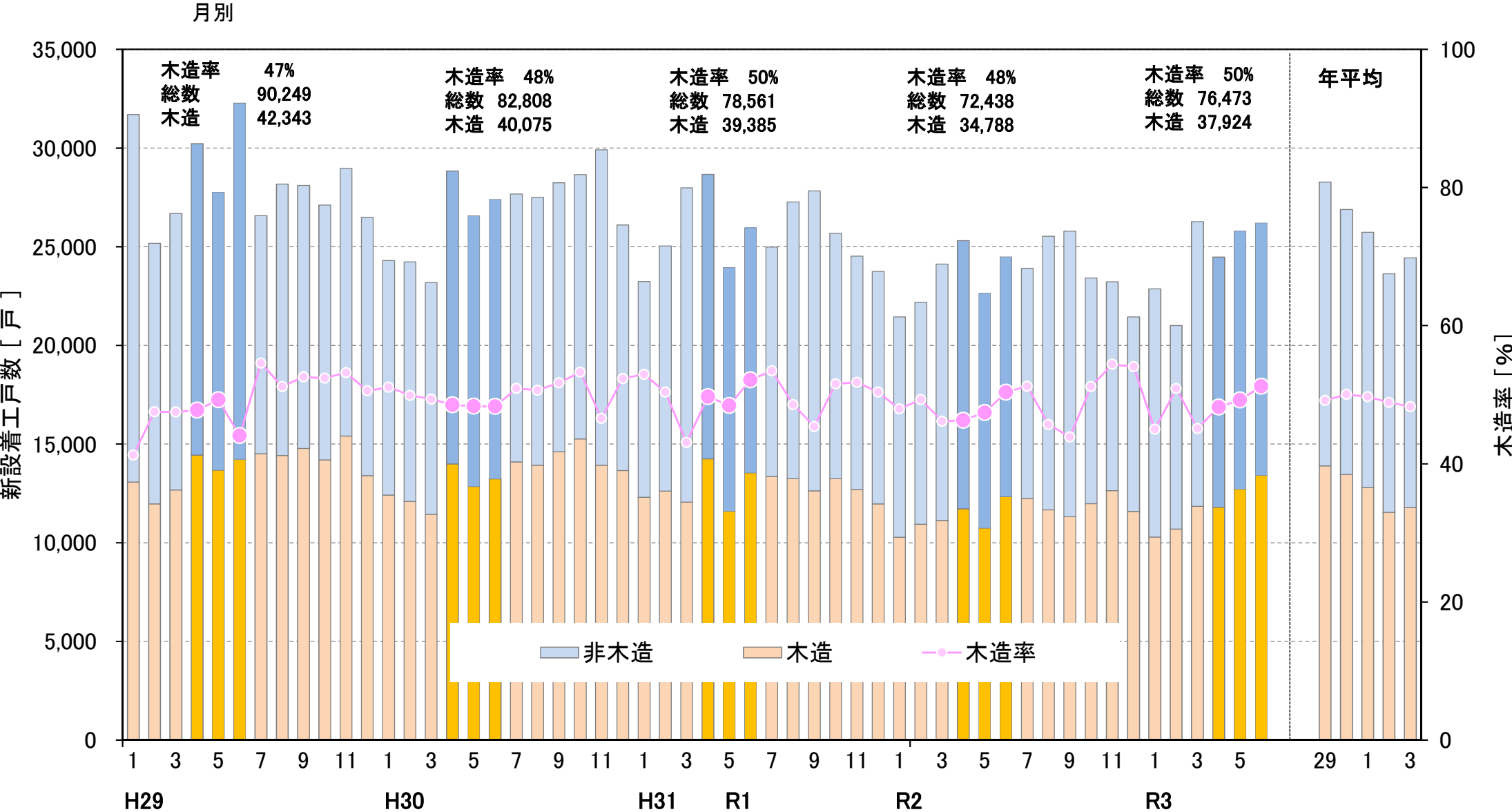
○ 山形県の令和3年度4～6月期の新設住宅着工数は、昨年同期より36戸増加した。
 この期間の木造は昨年同期より24戸減少し、木造率は4%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工戸数の推移(平成29年1月～令和3年6月)

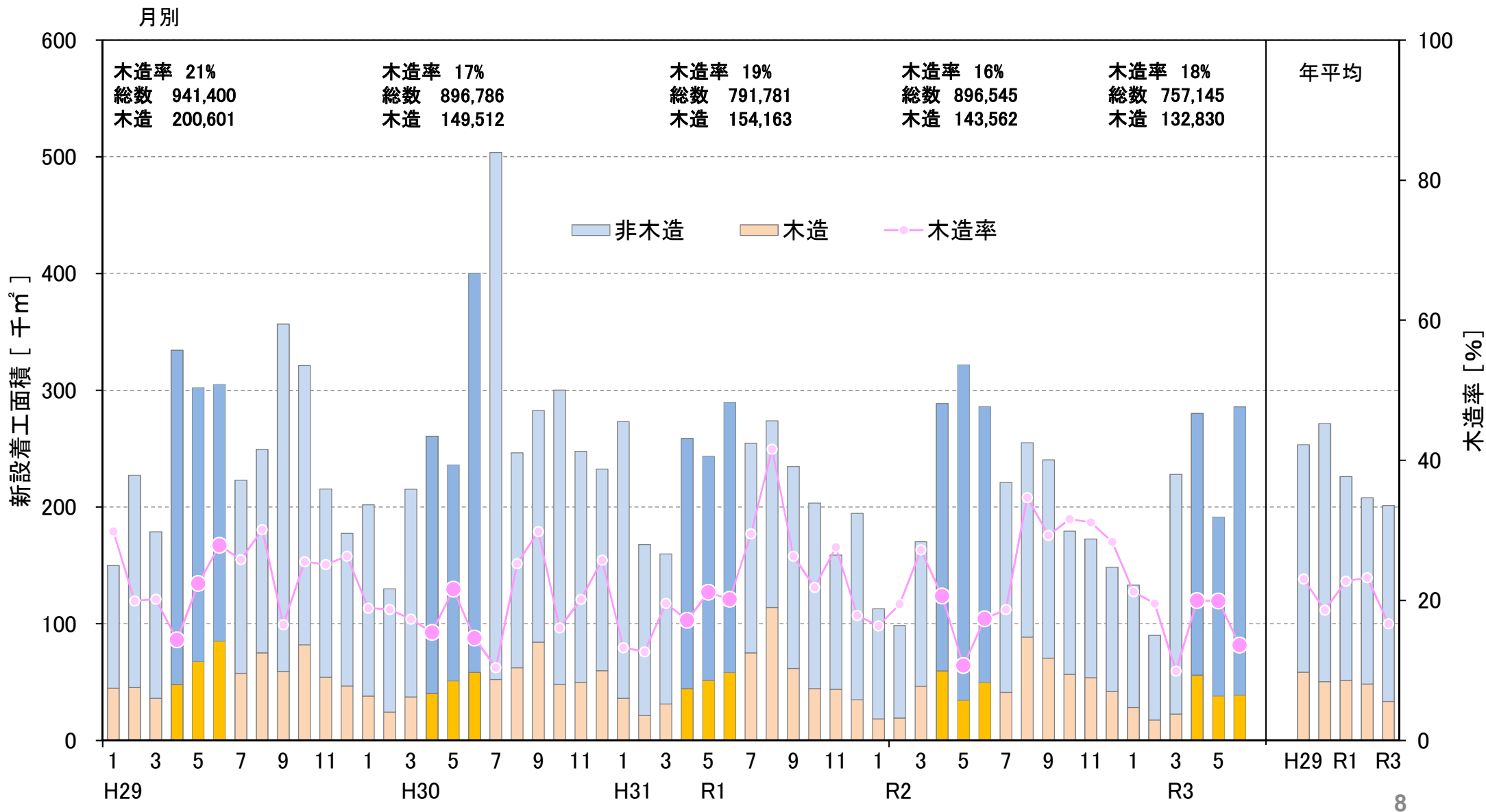
○ 関東主要都市の令和3年度4～6月期の新設住宅着工数は、昨年同期より4,035戸増加した。
 この期間の木造は昨年同期より3,136戸増加し、木造率は2%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北森林管理局管内5県の新設産業用建築物着工面積の推移 (平成29年1月～令和3年6月)

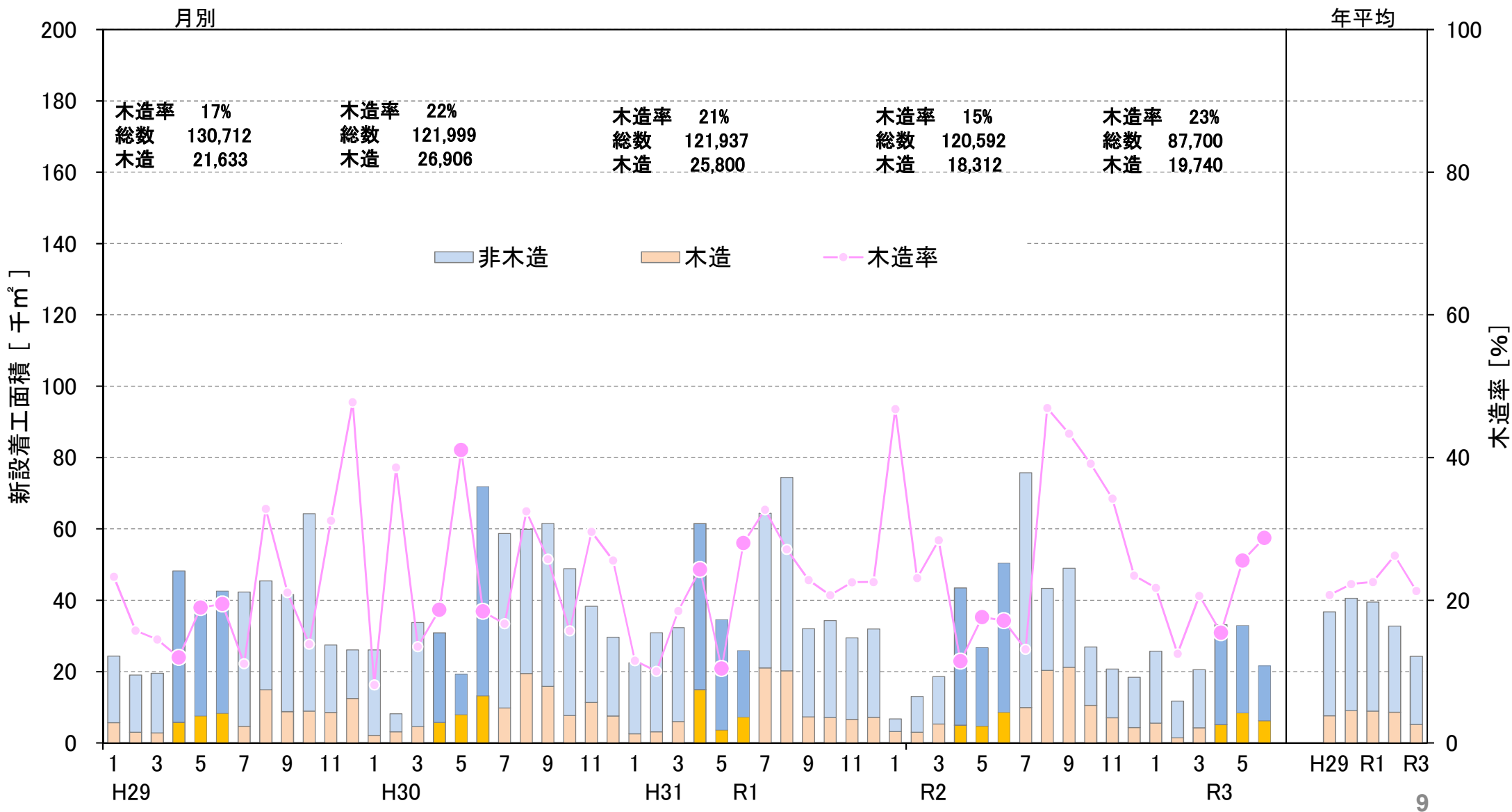
○ 東北5県の令和3年4～6月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より139,400㎡減少した。
この期間の木造は昨年同期より10,732㎡減少し、木造率は2%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

青森県の新設産業用建築物着工面積の推移 (平成29年1月～令和3年6月)

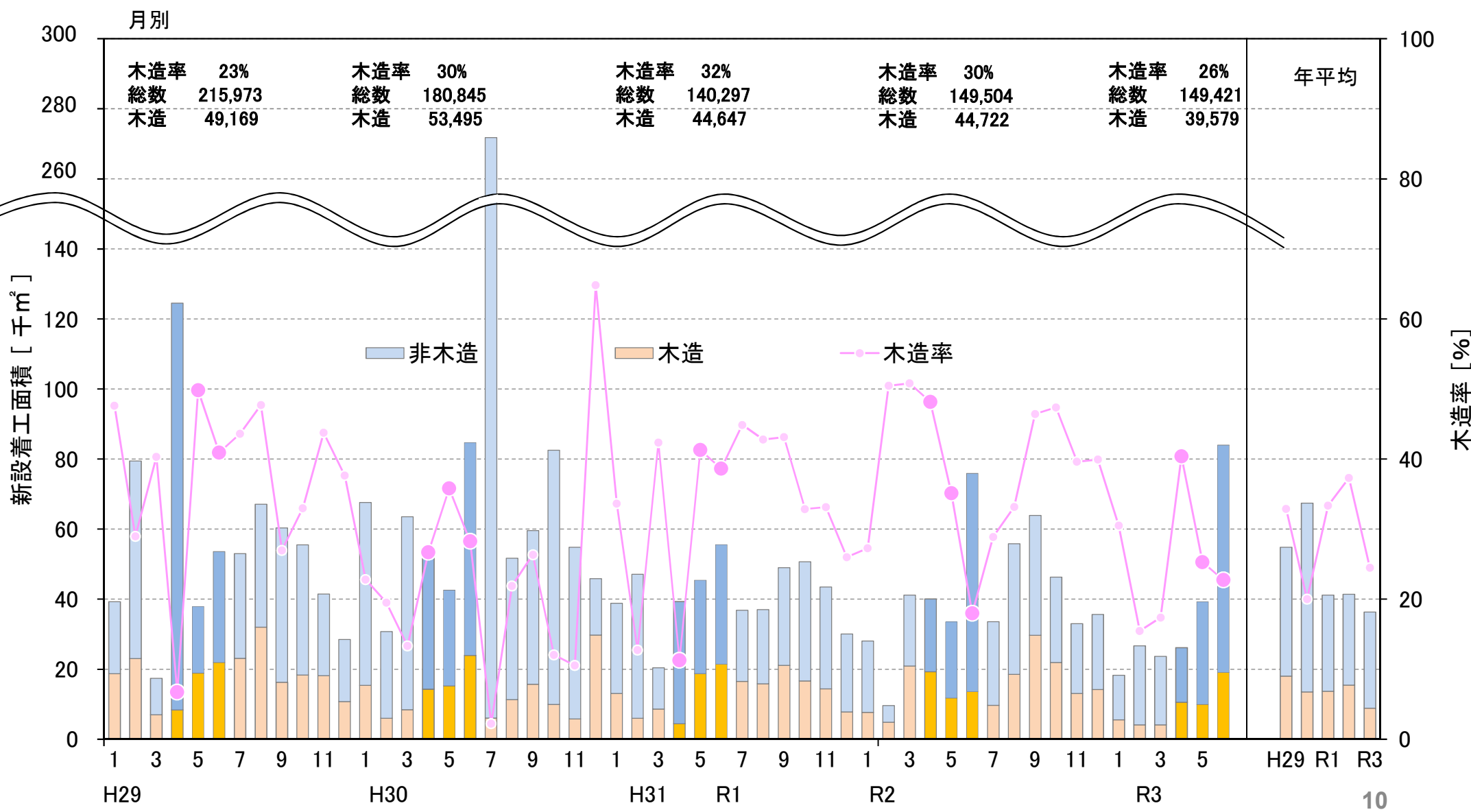
○ 青森県の令和3年4～6月期の新設産業用建築物着面積は、昨年同期より32,892㎡減少した。
この期間の木造は1,428㎡増加し、木造率は8%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 岩手県の新設産業用建築物着工面積の推移 (平成29年1月～令和3年6月)

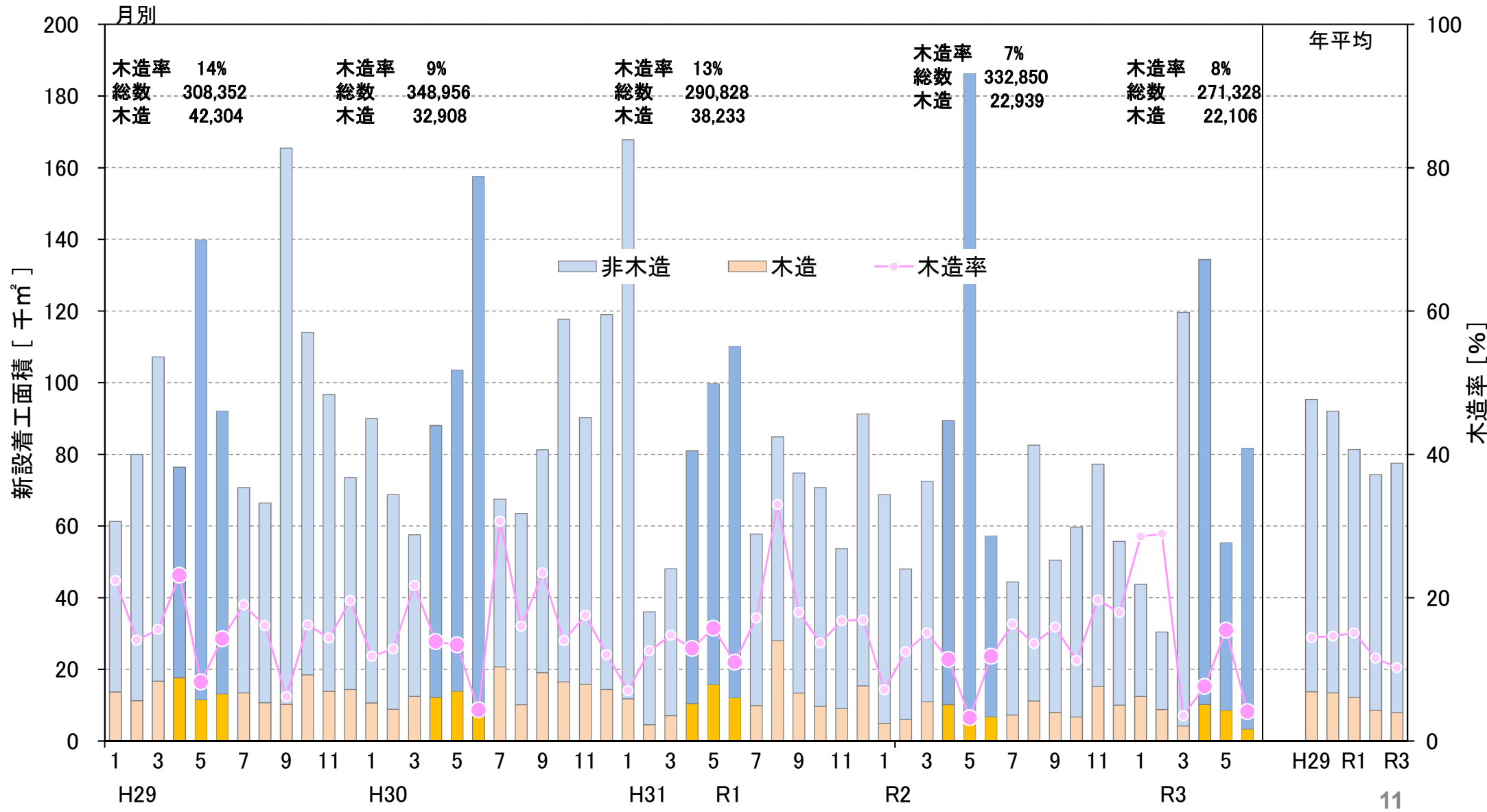
○ 岩手県の令和3年4～6月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より83m²減少した。
この期間の木造は5,143m²減少し、木造率は4%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

宮城県の新設産業用建築物着工面積の推移 (平成29年1月～令和3年6月)

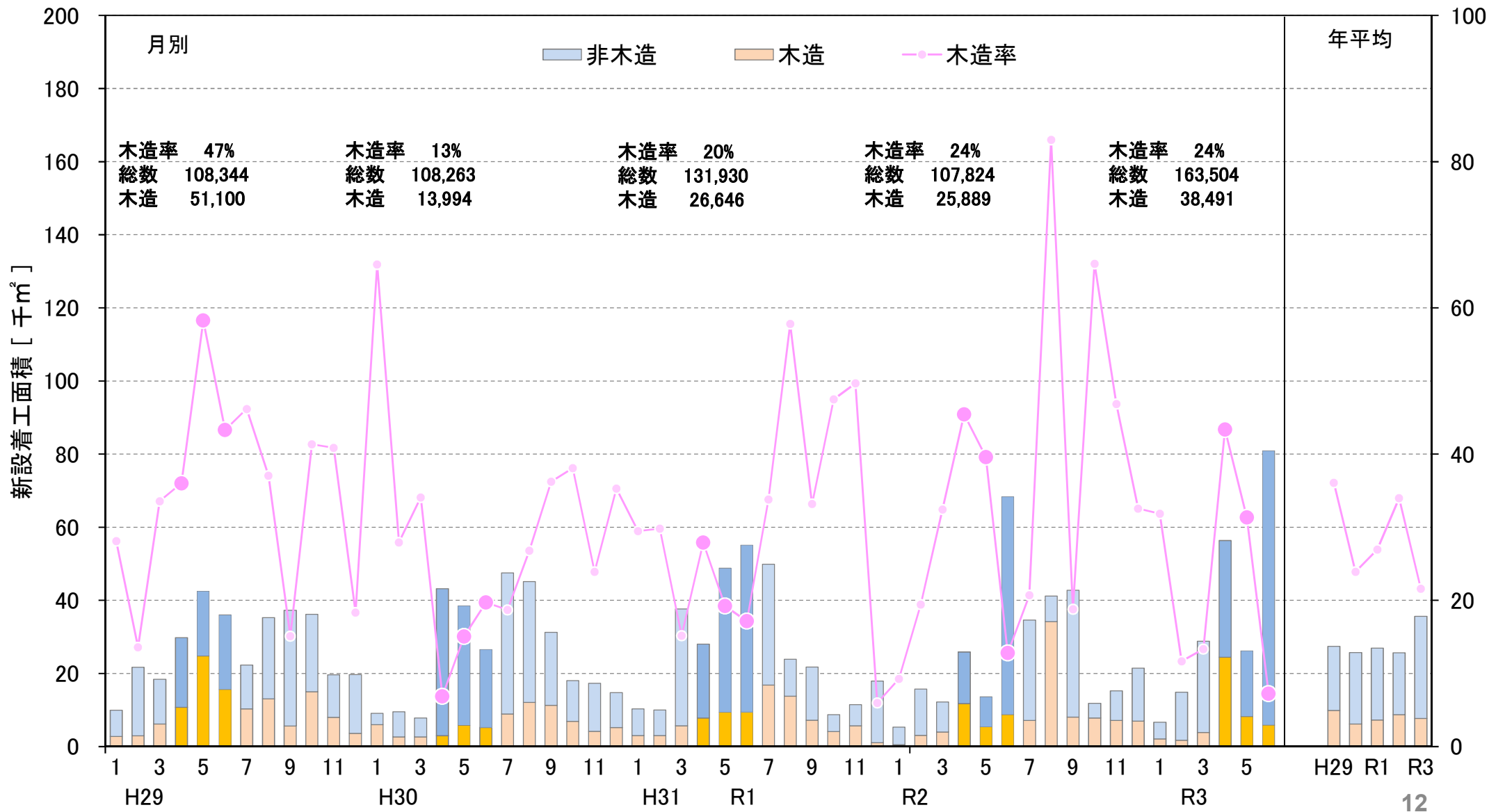
○ 宮城県の令和3年4～6月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より61,522㎡減少した。この期間の木造は833㎡減少し、木造率は1%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 秋田県の新設産業用建築物着工面積の推移 (平成29年1月～令和3年6月)

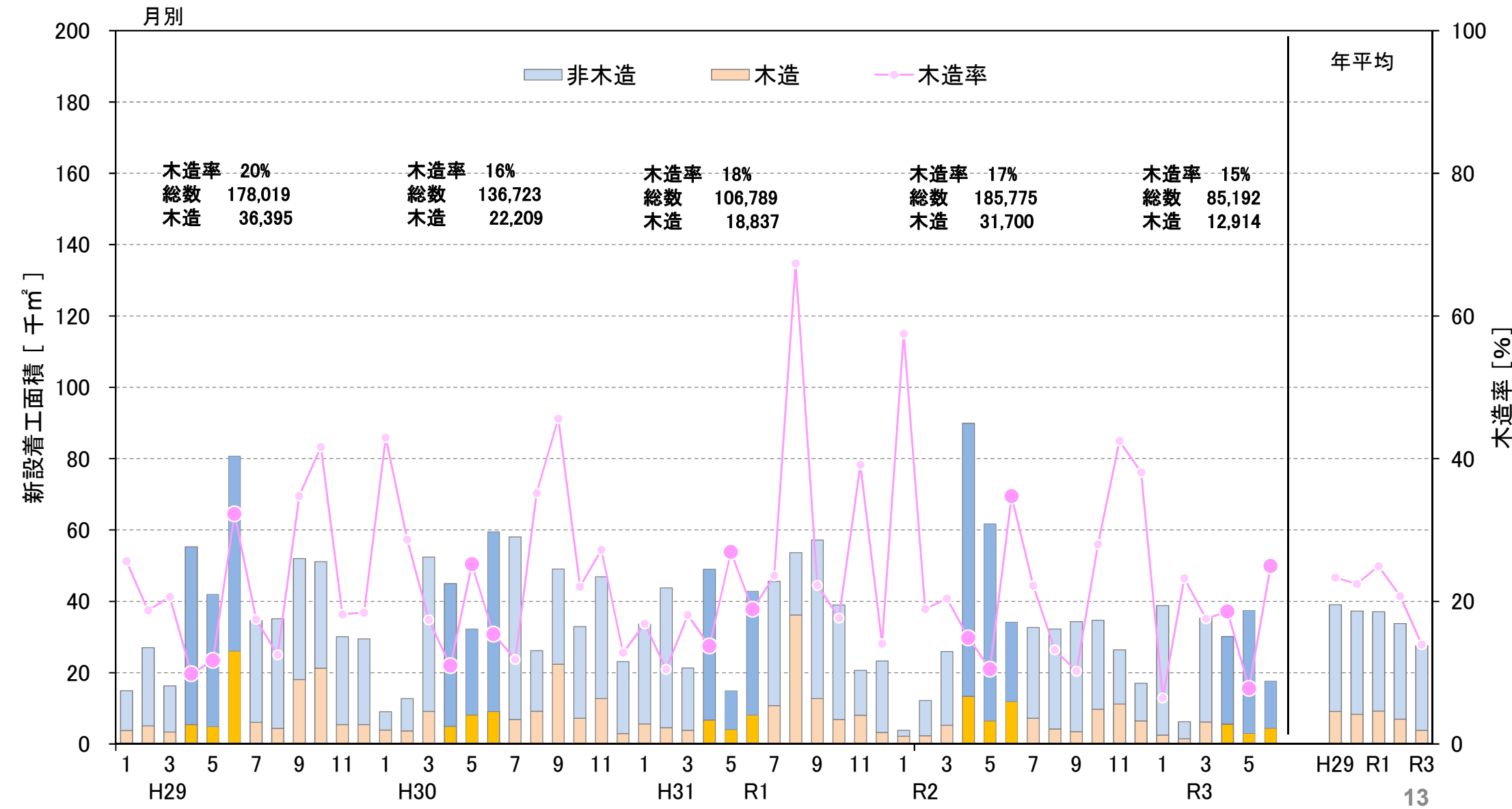
○ 秋田県の令和3年4～6月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より55,680㎡増加した。この期間の木造は12,602㎡増加し、木造率には変化はなかった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

山形県の新設産業用建築物着工面積の推移 (平成29年1月～令和3年6月)

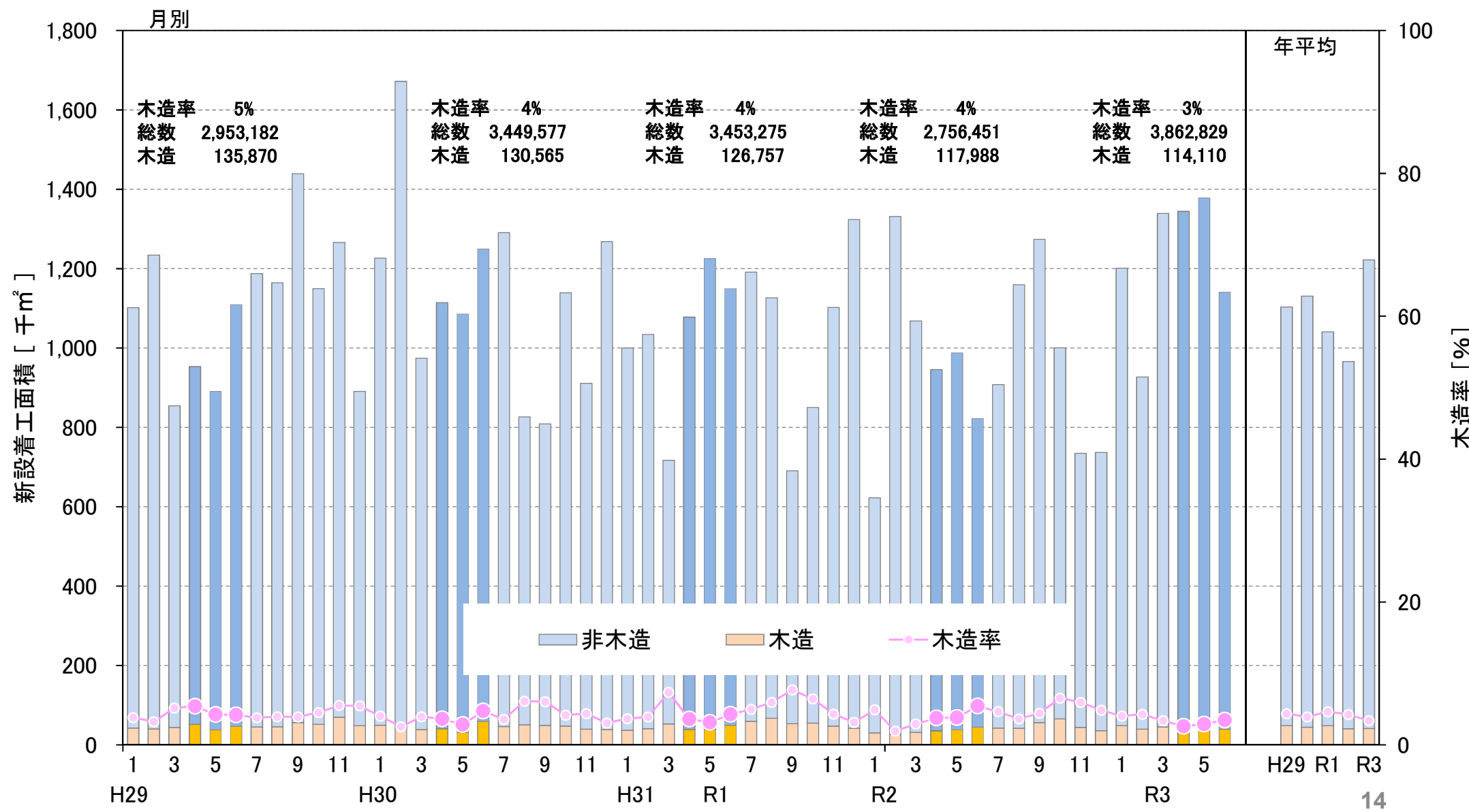
○ 山形県の令和3年4～6月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より100,583㎡減少した。この期間の木造は18,786㎡減少し、木造率は2%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設産業用建築物着工面積の推移 (平成29年1月～令和3年6月)

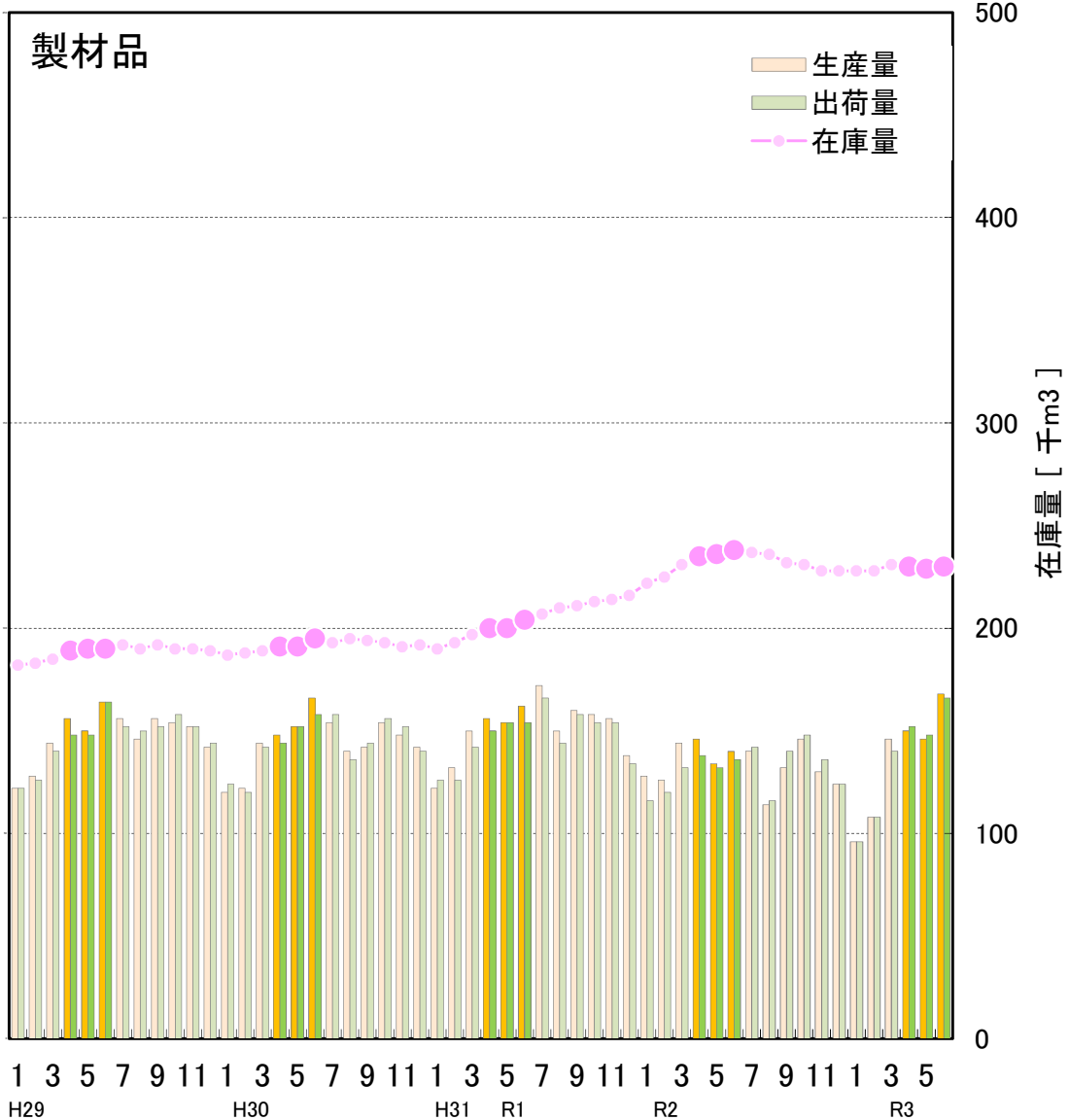
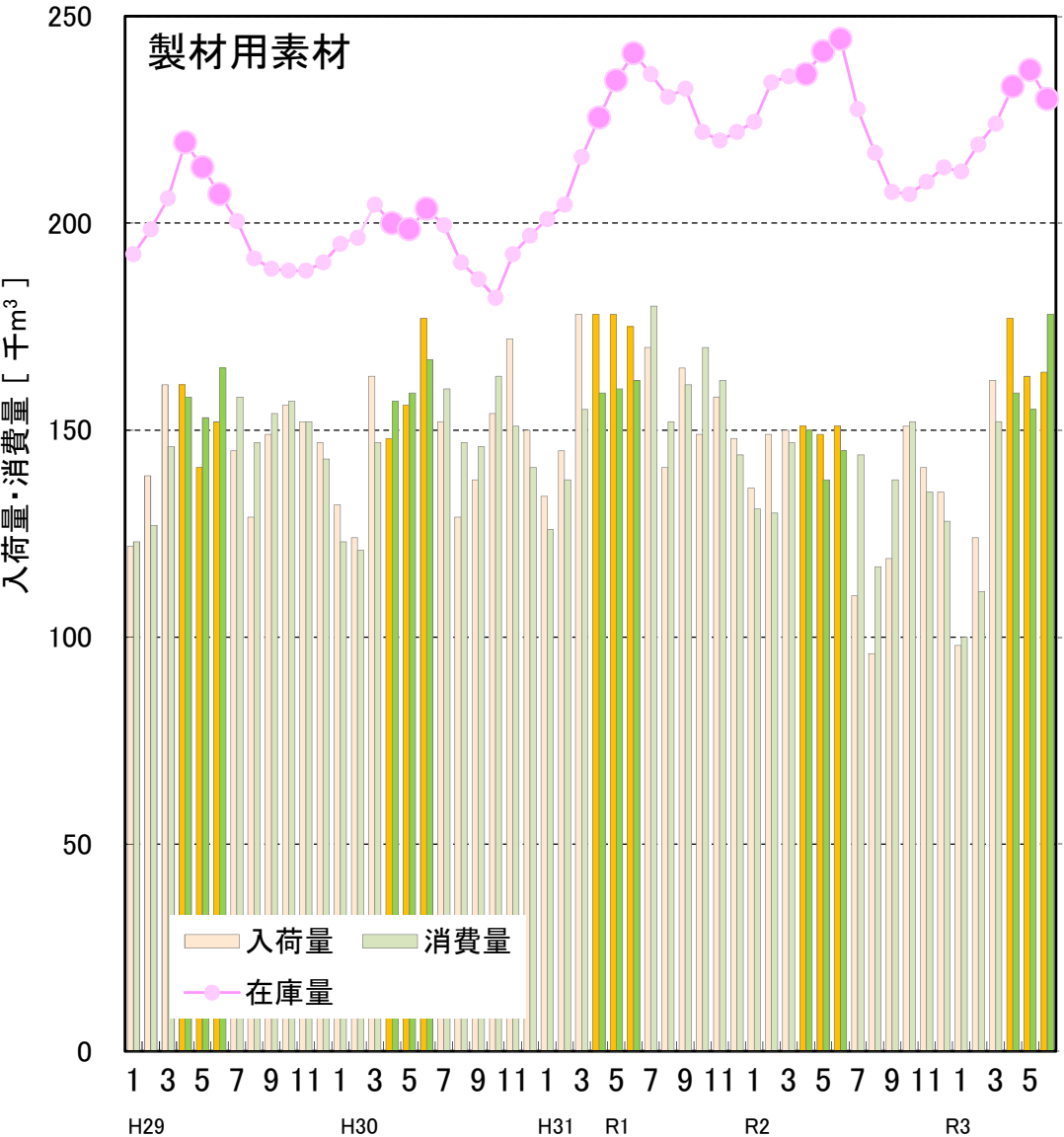
○ 関東主要都市の令和3年4～6月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より1,106,378㎡増加した。この期間の木造は3,878㎡減少し、木造率は1%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北5県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成29年1月～令和3年6月)

○ 製材用素材の令和3年度4～6月の入荷量は昨年同期比+12%、消費量は+14%、在庫量は6月比-6%。
 ○ 製材品の令和3年度4～6月の生産量は昨年同期比+10%、出荷量は+15%、在庫量は6月比-3%。

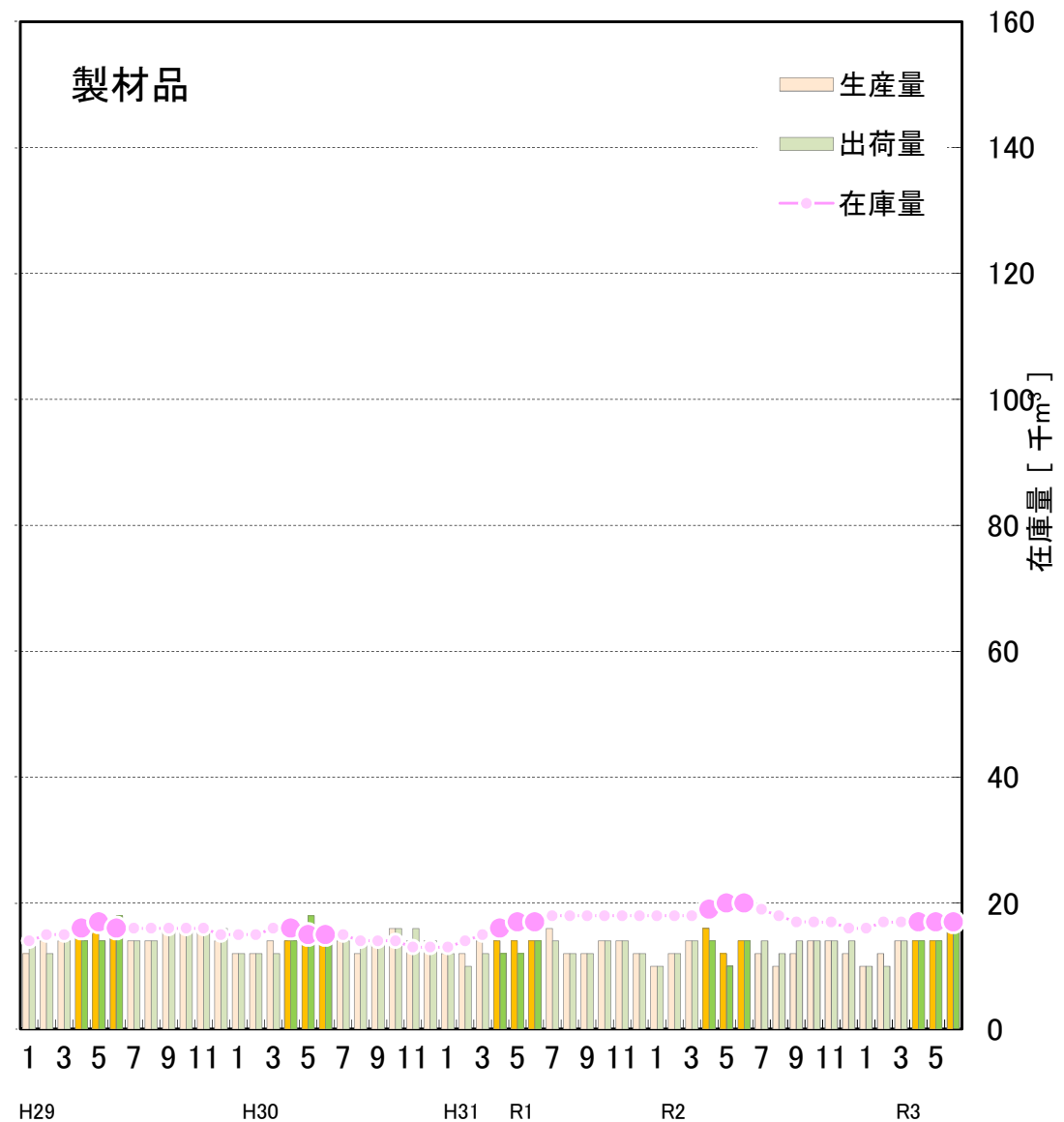
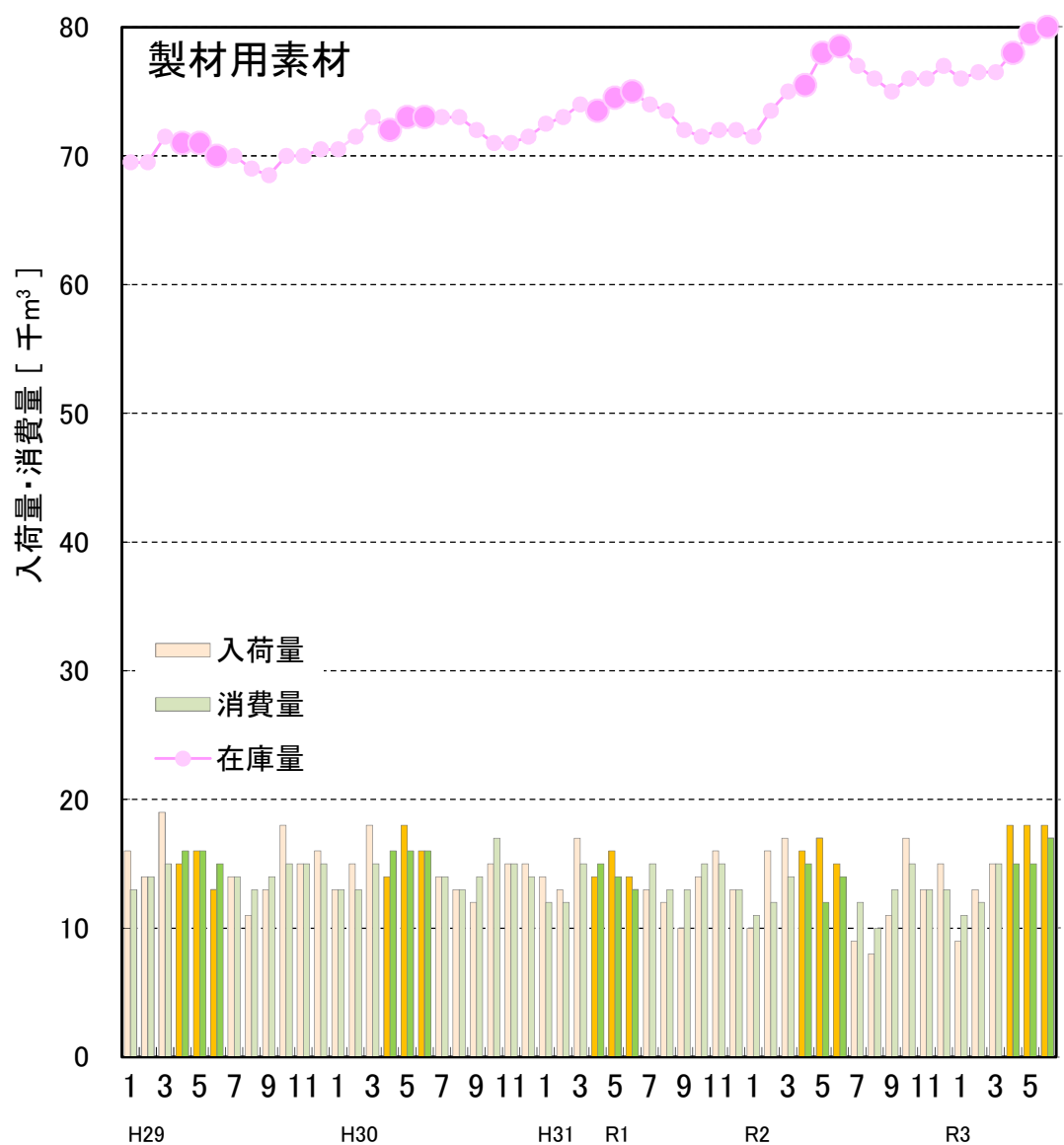


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

青森県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成29年1月～令和3年6月)

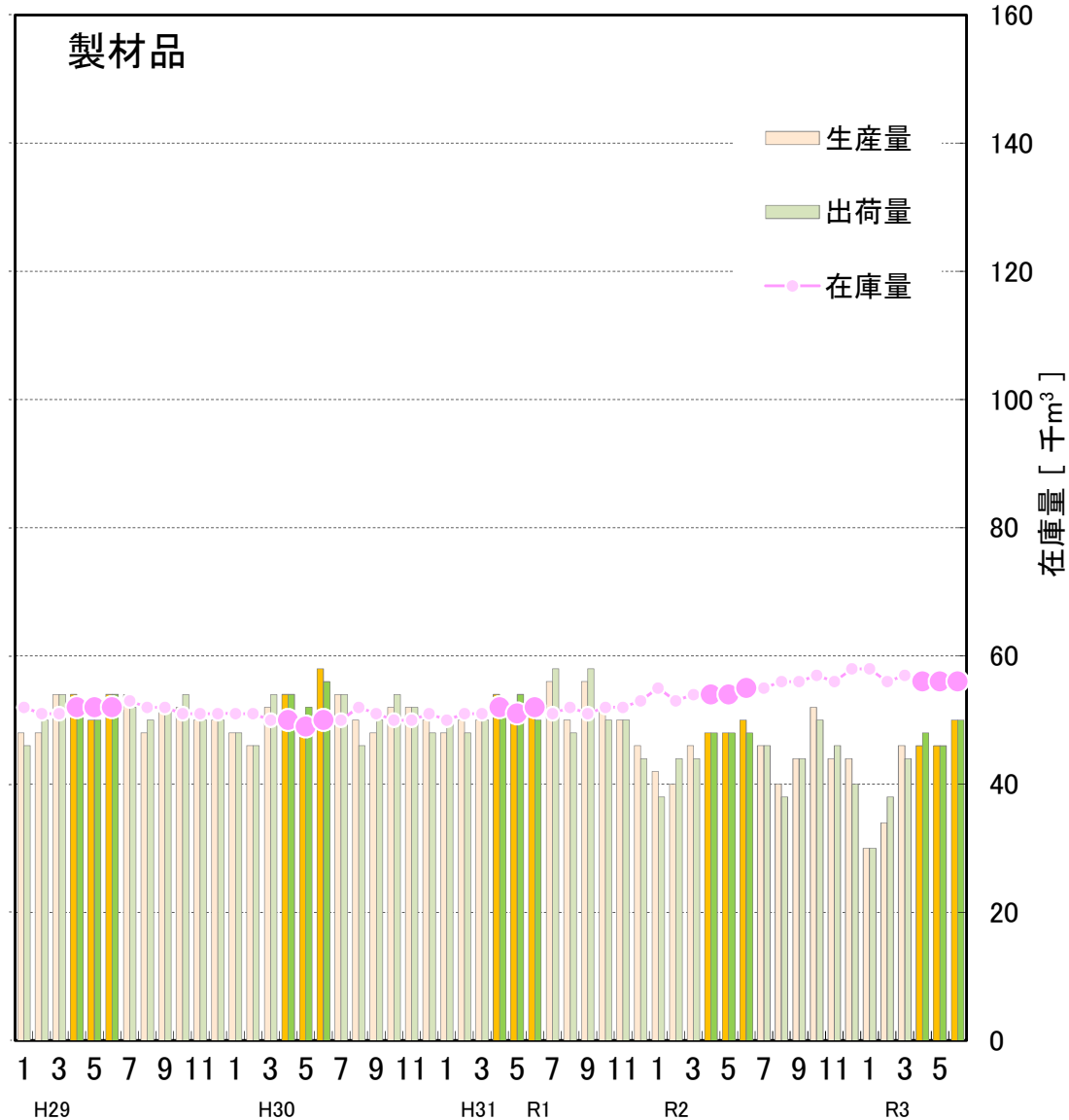
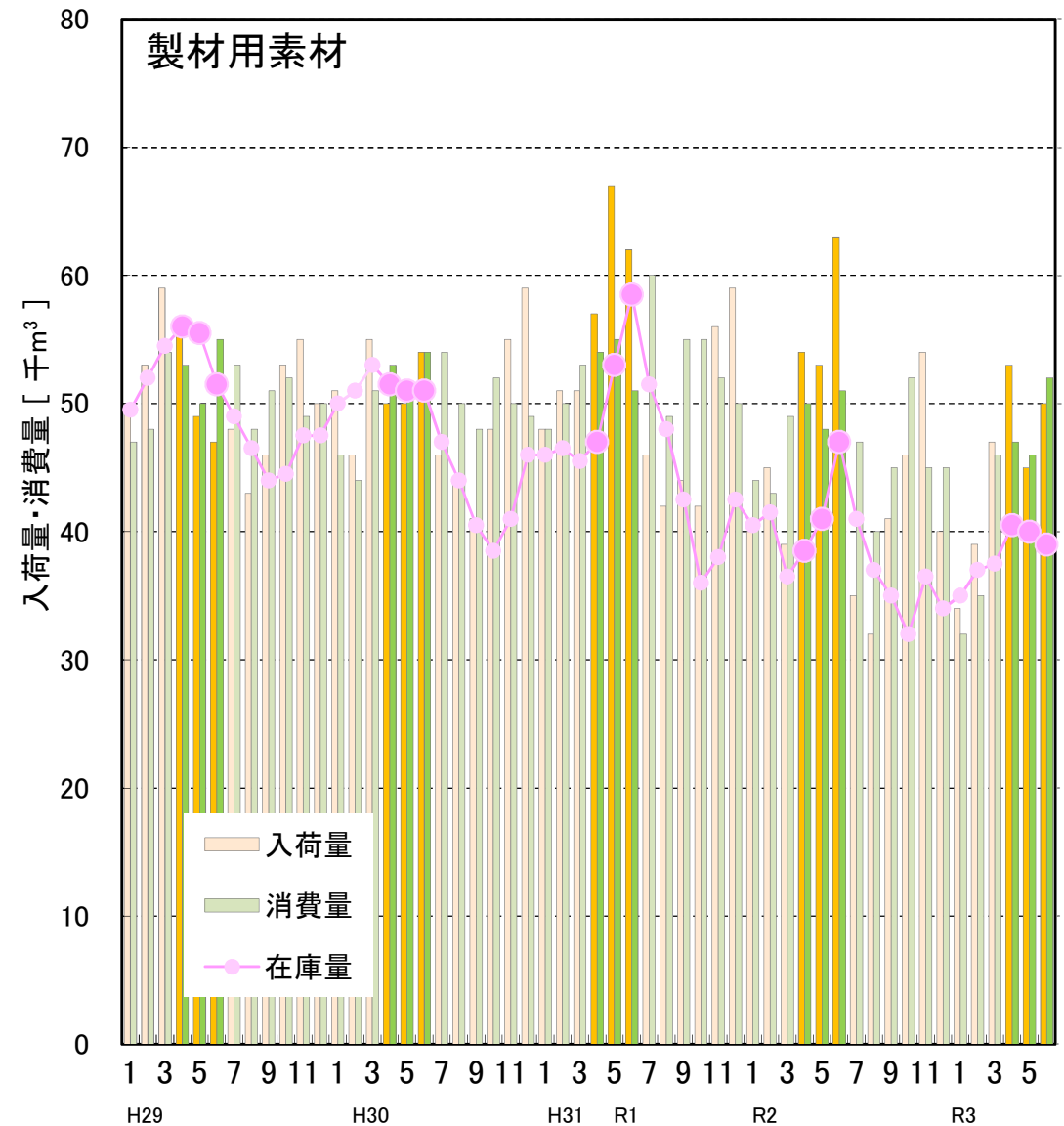
○ 製材用素材の令和3年度4～6月の入荷量は去年同期比+13%、消費量は+15%、在庫量は6月比+2%。
 ○ 製材品の令和3年度4～6月の生産量は去年同期比+5%、出荷量は+16%、在庫量は6月比-15%。



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

■ 岩手県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成29年1月～令和3年6月)

- 製材用素材の令和3年度4～6月の入荷量は昨年同期比-13%、消費量は-3%、在庫量は6月比-17%。
- 製材品の令和3年度4～6月の生産量は昨年同期比-3%、出荷量は±0%、在庫量は6月比+2%。

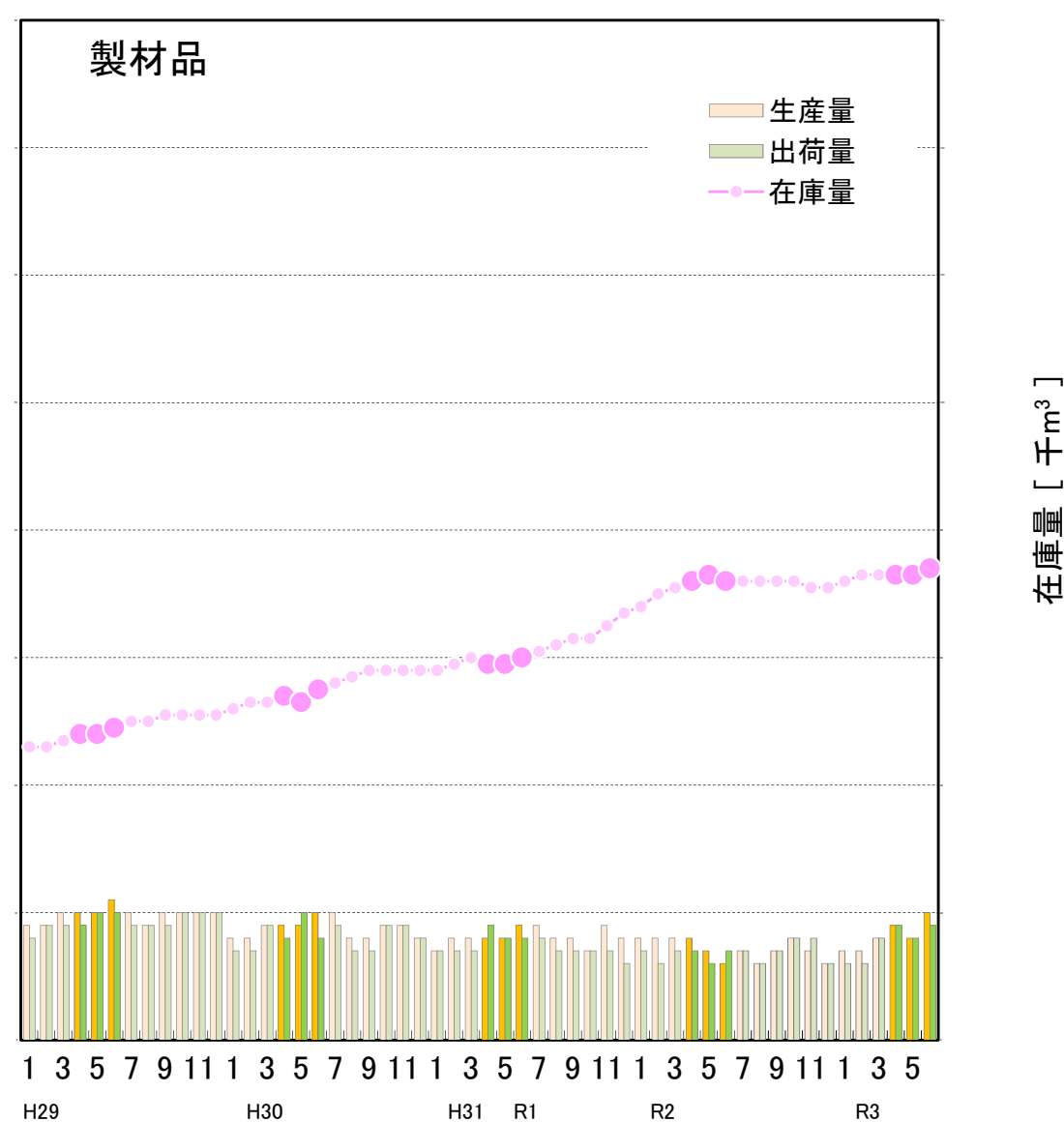
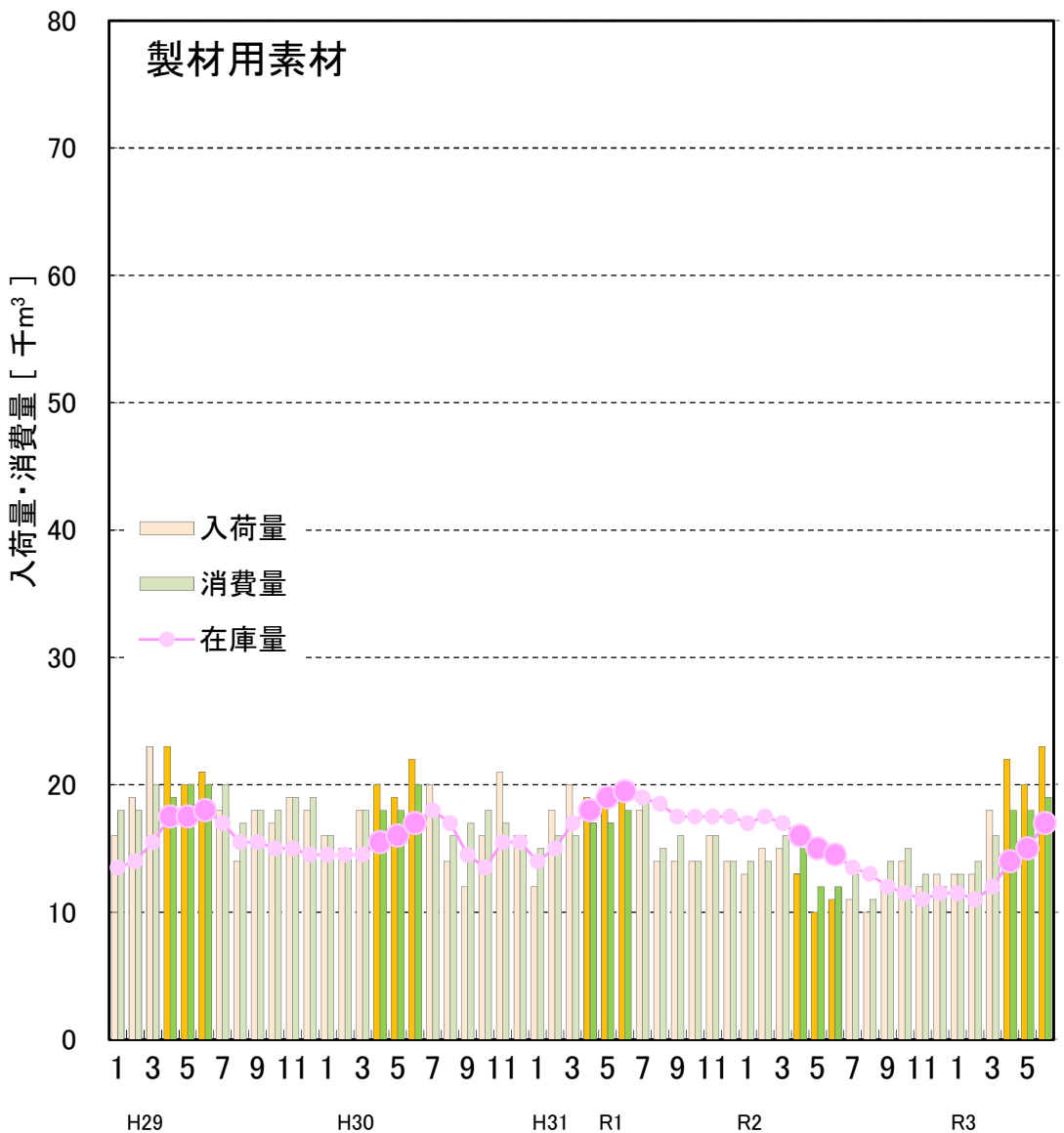


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

■ 宮城県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成29年1月～令和3年6月)

- 製材用素材の令和3年度4～6月の入荷量は去年同期比+91%、消費量は+41%、在庫量は6月比+17%。
- 製材品の令和3年度4～6月の生産量は去年同期比+29%、出荷量は+30%、在庫量は6月比+3%。

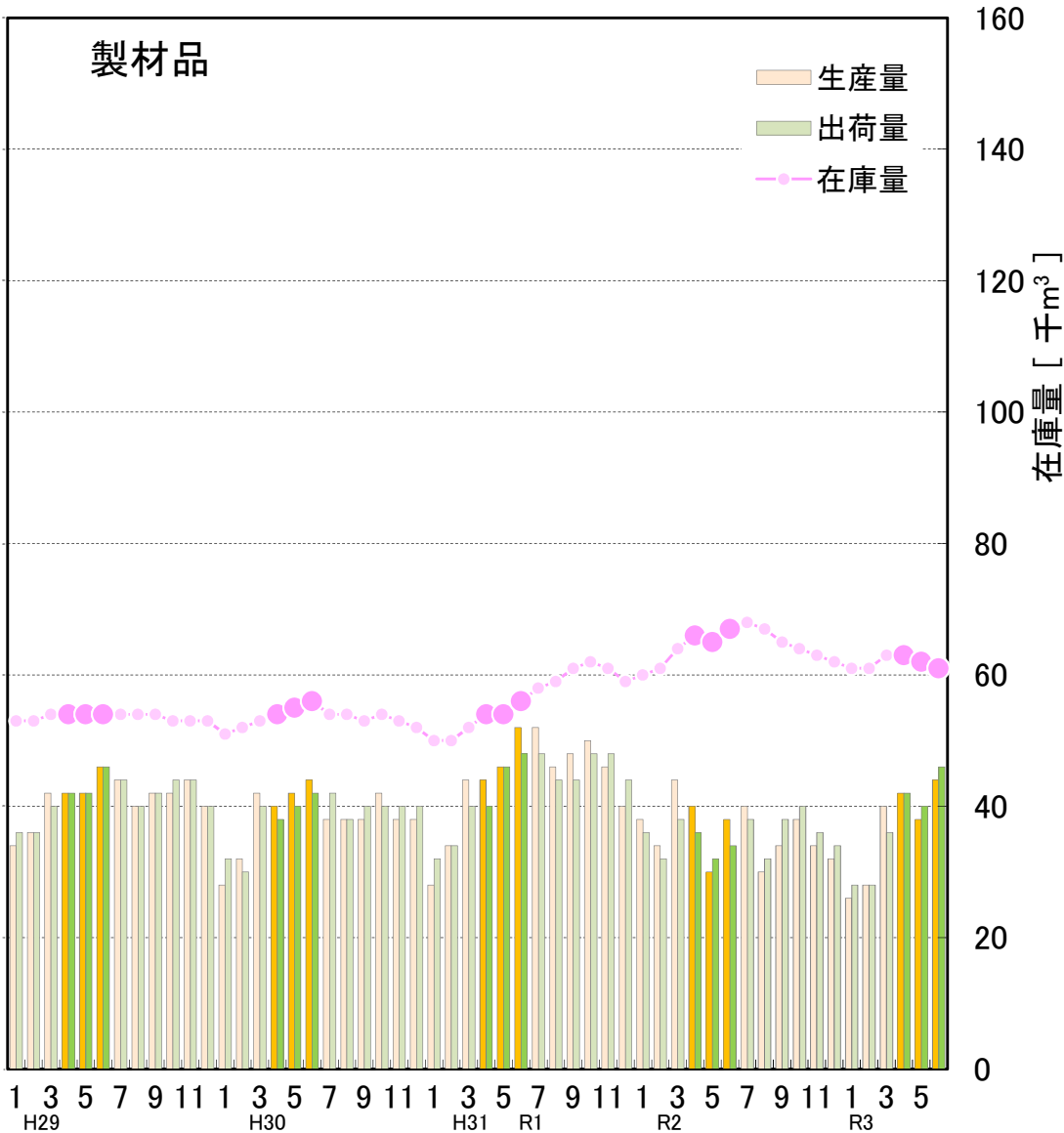
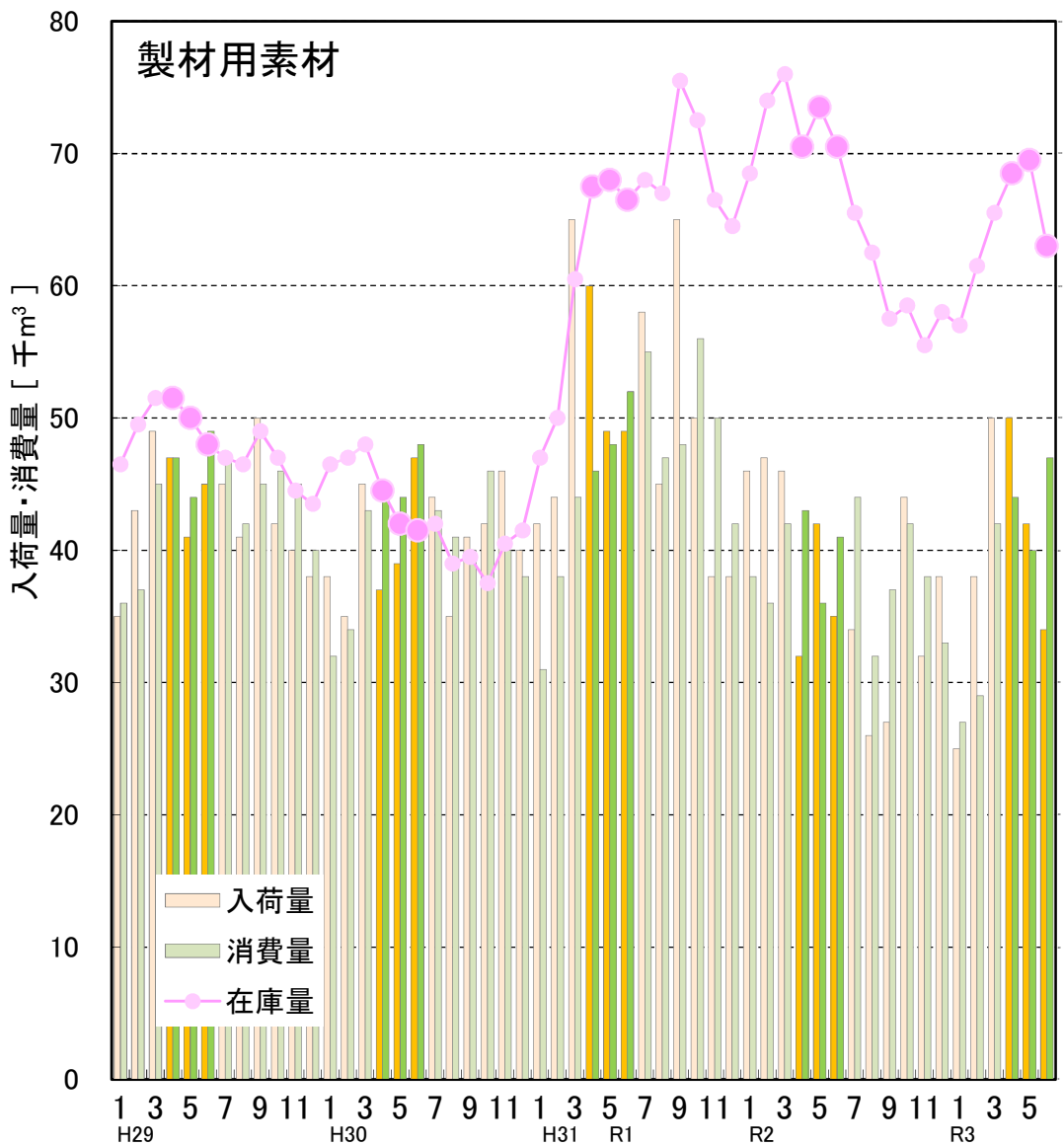


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

■ 秋田県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成29年1月～令和3年6月)

- 製材用素材の令和3年度4～6月の入荷量は昨年同期比+16%、消費量は+9%、在庫量は6月比-11%。
- 製材品の令和3年度4～6月の生産量は昨年同期比+15%、出荷量は+25%、在庫量は6月比-9%。

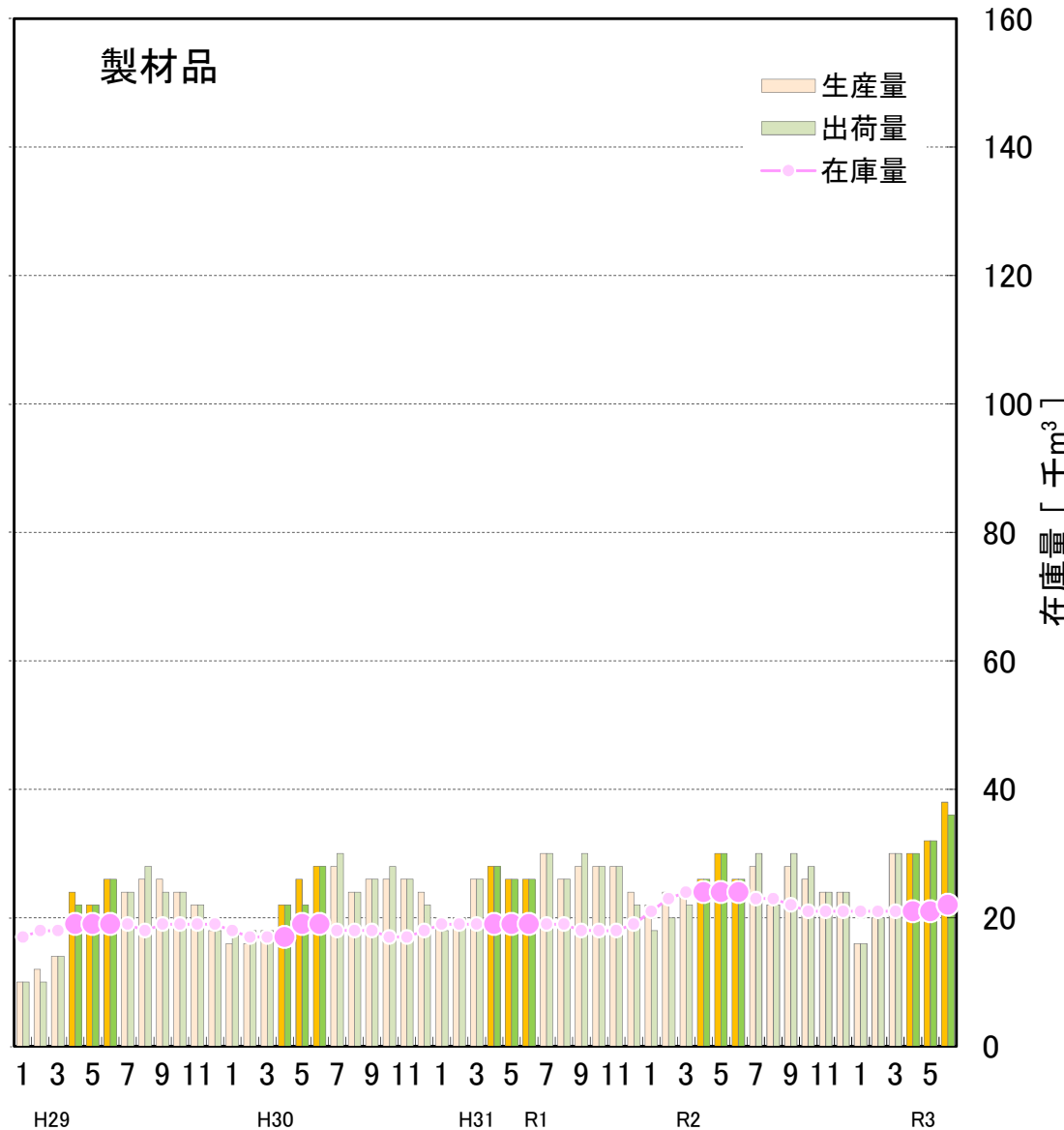
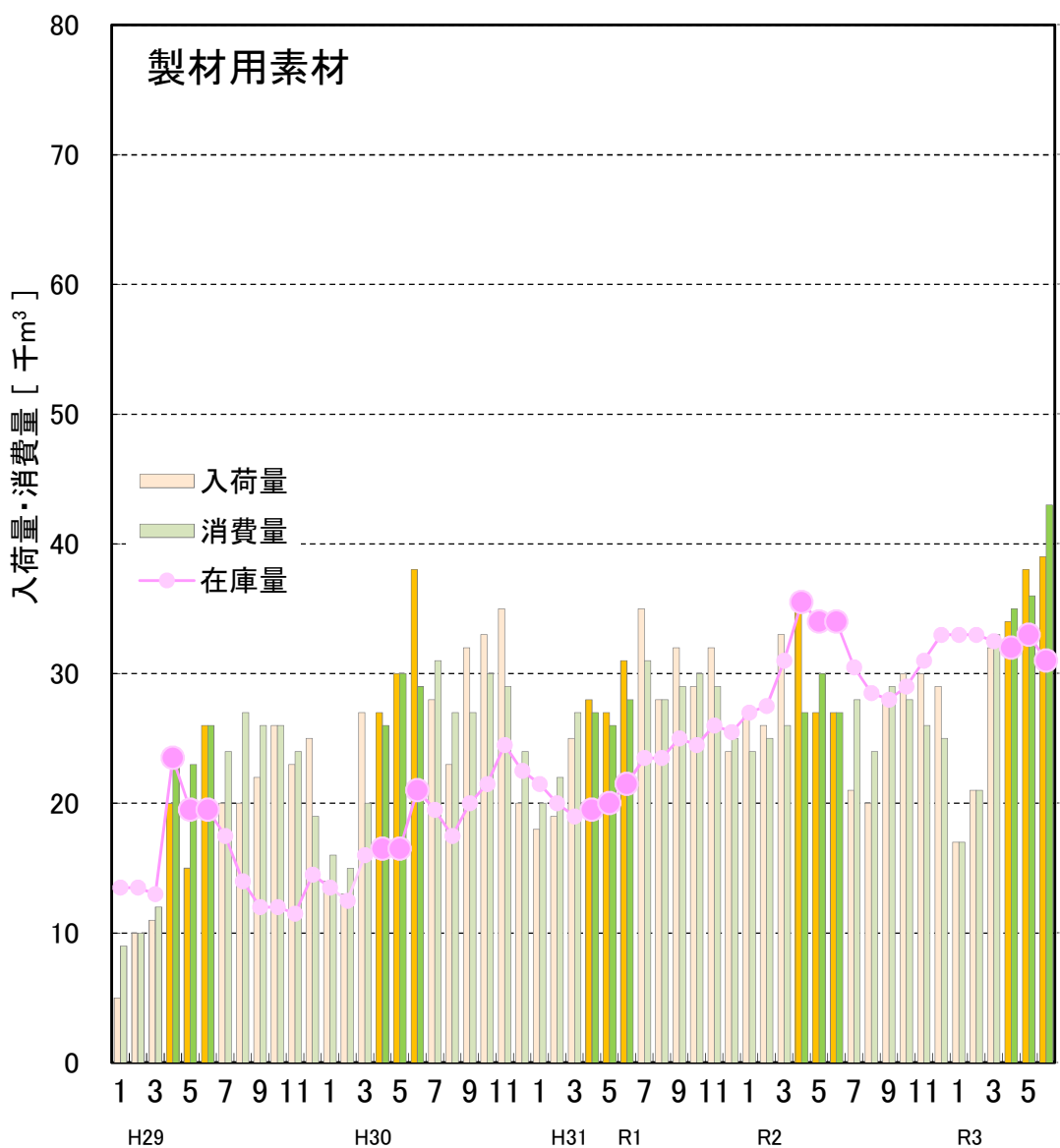


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

山形県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成29年1月～令和3年6月)

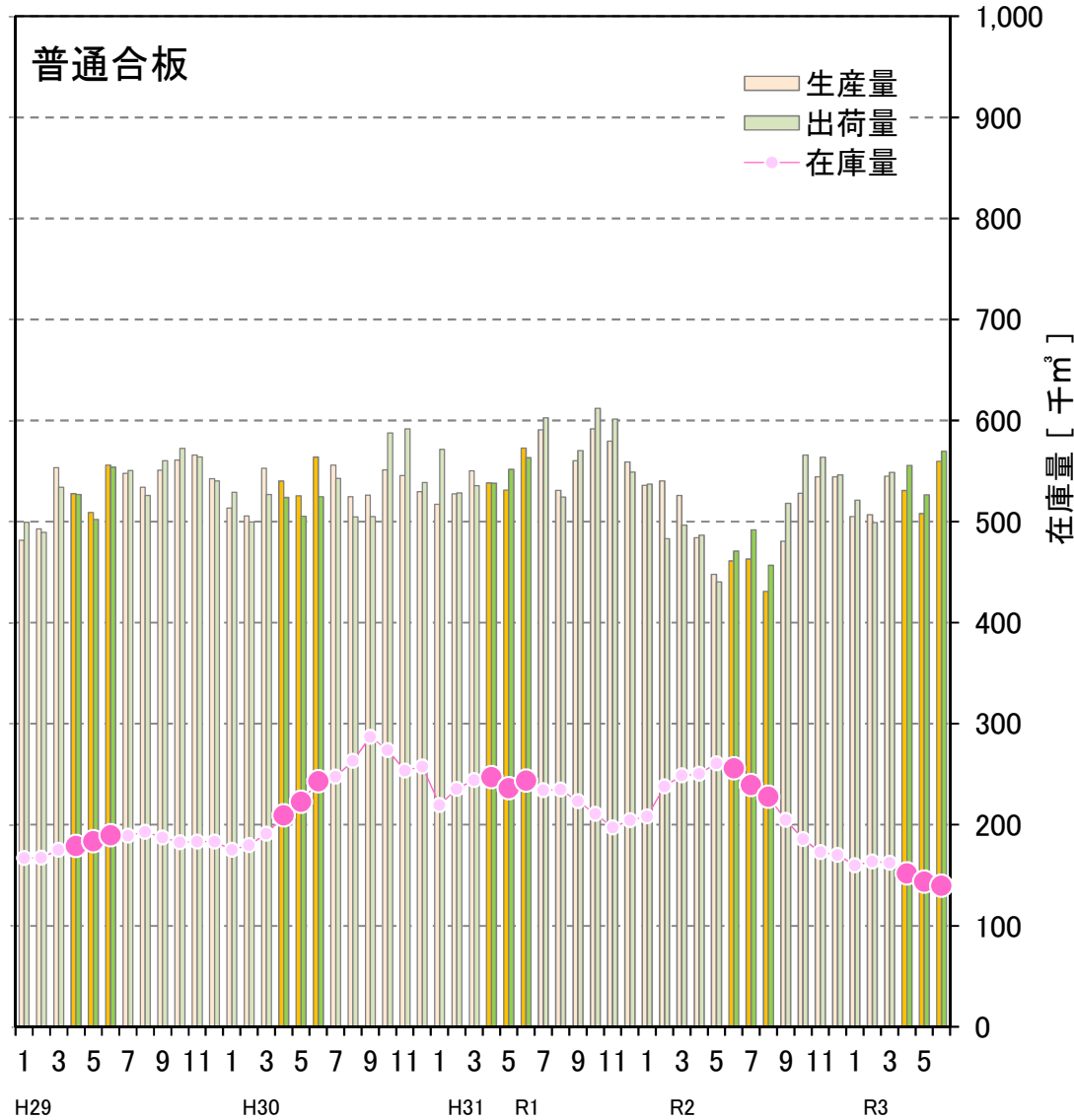
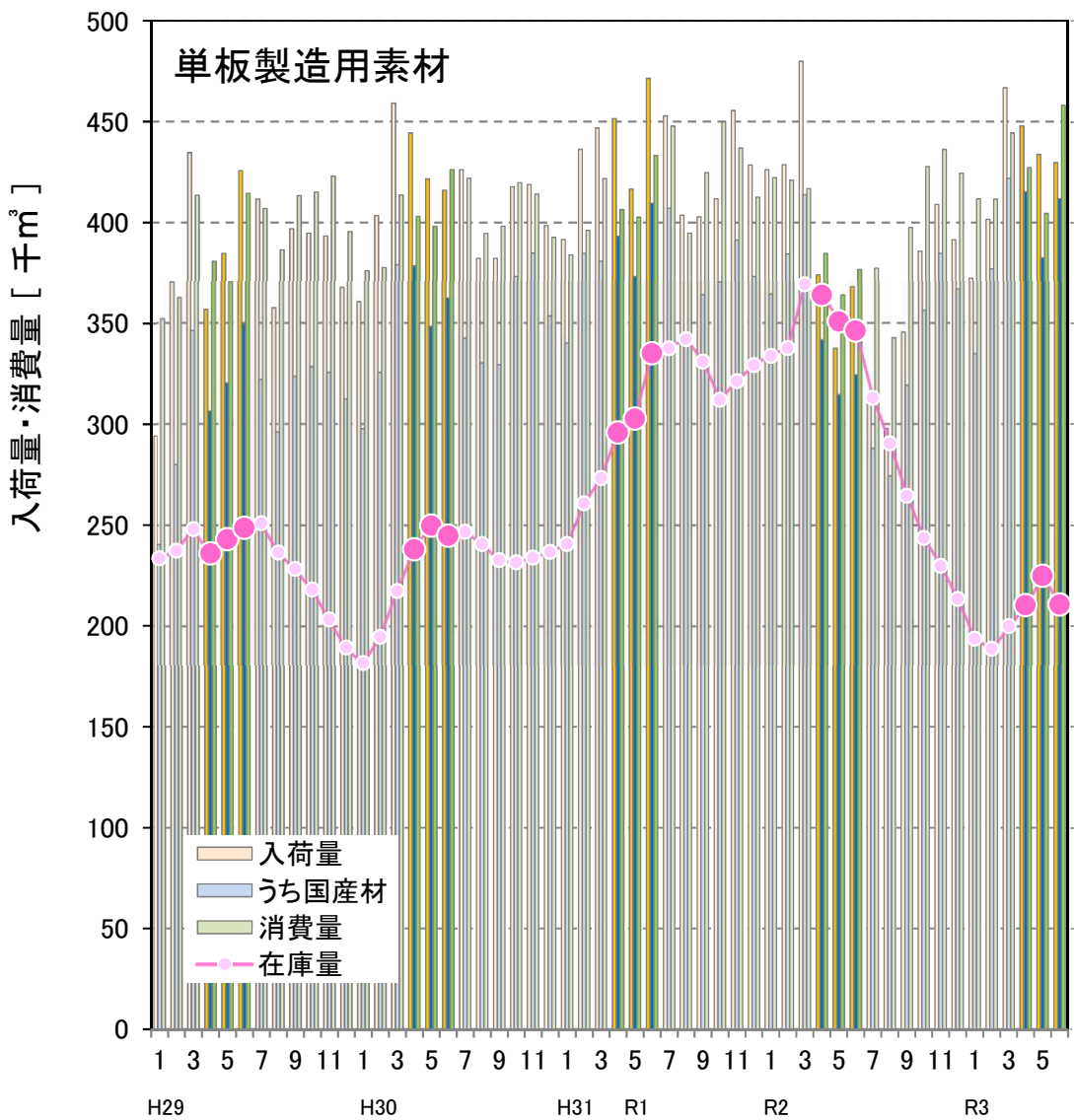
○ 製材用素材の令和3年度4～6月の入荷量は去年同期比+23%、消費量は+36%、在庫量は6月比-9%。
 ○ 製材品の令和3年度4～6月の生産量は去年同期比+22%、出荷量は+20%、在庫量は6月比-8%。



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

■ 全国の単板製造用素材・普通合板の入荷量等の推移(平成29年1月～令和3年6月)

○ 単板製材用素材の令和3年度4～6月期の入荷量は去年同期比+22%、うち国産材は+23%、消費量は+15%、在庫量は6月比-39%。
 ○ 普通合板の令和3年度4～6月期の生産量は去年同期比+15%、出荷量は+18%、在庫量は6月比-55%



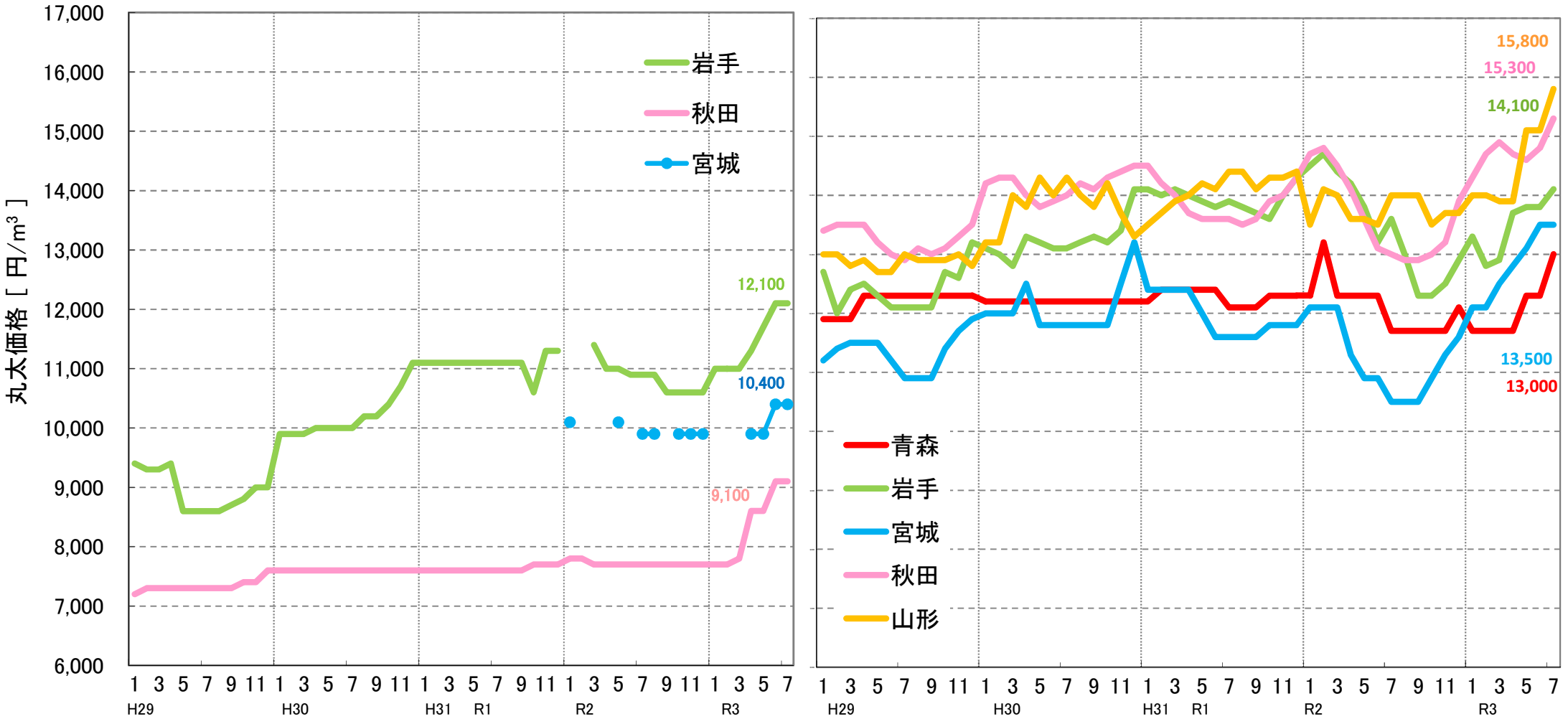
出典：農林水産省「合板統計」
 ※単板製造用素材の集計値は令和元年6月に、普通合板の集計値は平成31年1月及び令和元年6月に調査対象工場の見直しがあったため、その先月の数値とは接続しない。

■ すぎ丸太価格の推移(平成29年1月～令和3年7月)

- すぎ小丸太価格は、岩手、宮城、秋田とも保合で推移。
- すぎ中丸太価格は青森、岩手、秋田、山形で強含み、宮城で保合で推移。

すぎ小丸太 3.65～4.00m (8～13cm)

すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



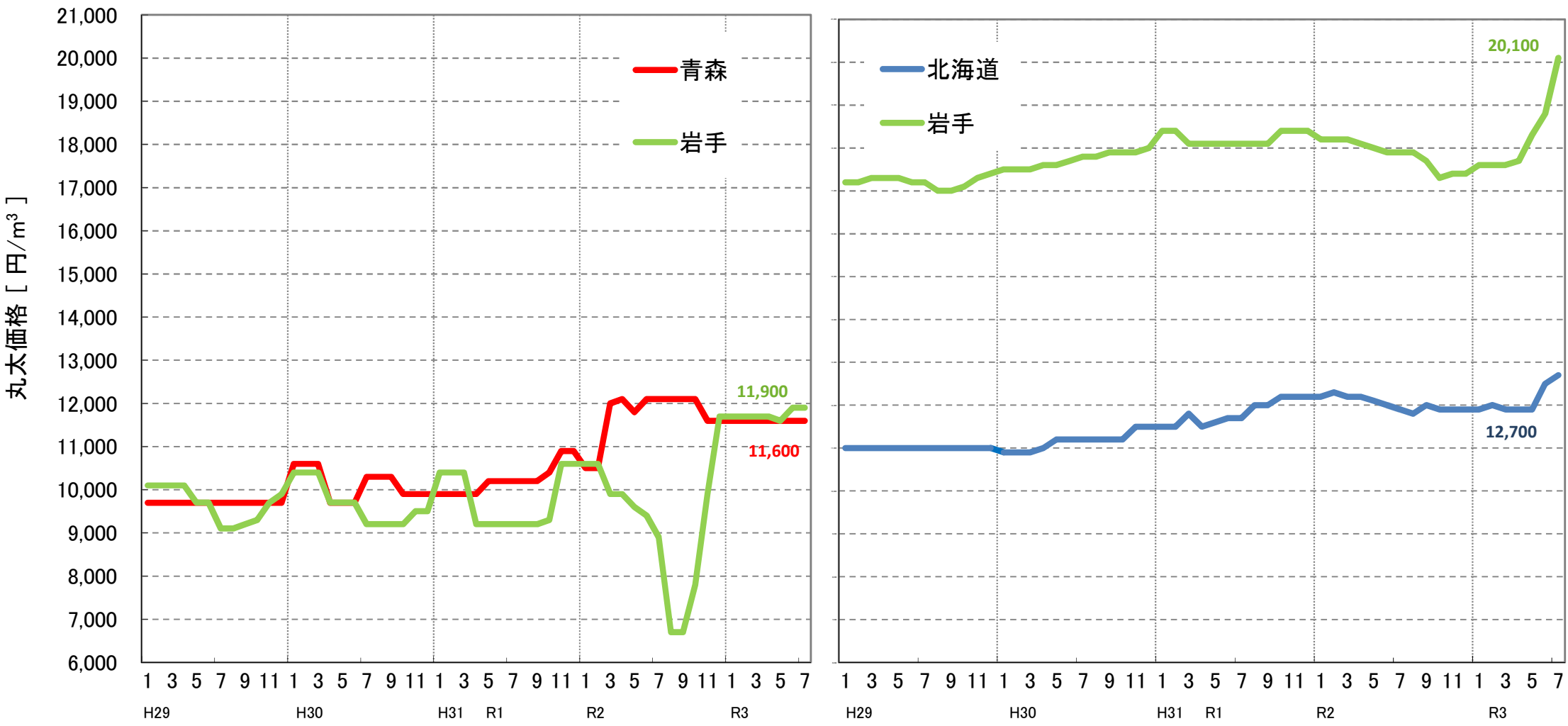
出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は工場着価格。
 ※ 平成30年1月に調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

■ まつ・からまつ丸太価格の推移(平成29年1月～令和3年7月)

- まつ中丸太価格は保合で推移。
- からまつ中丸太価格は強含みで推移。北海道との価格差は7,400円。

まつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

からまつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

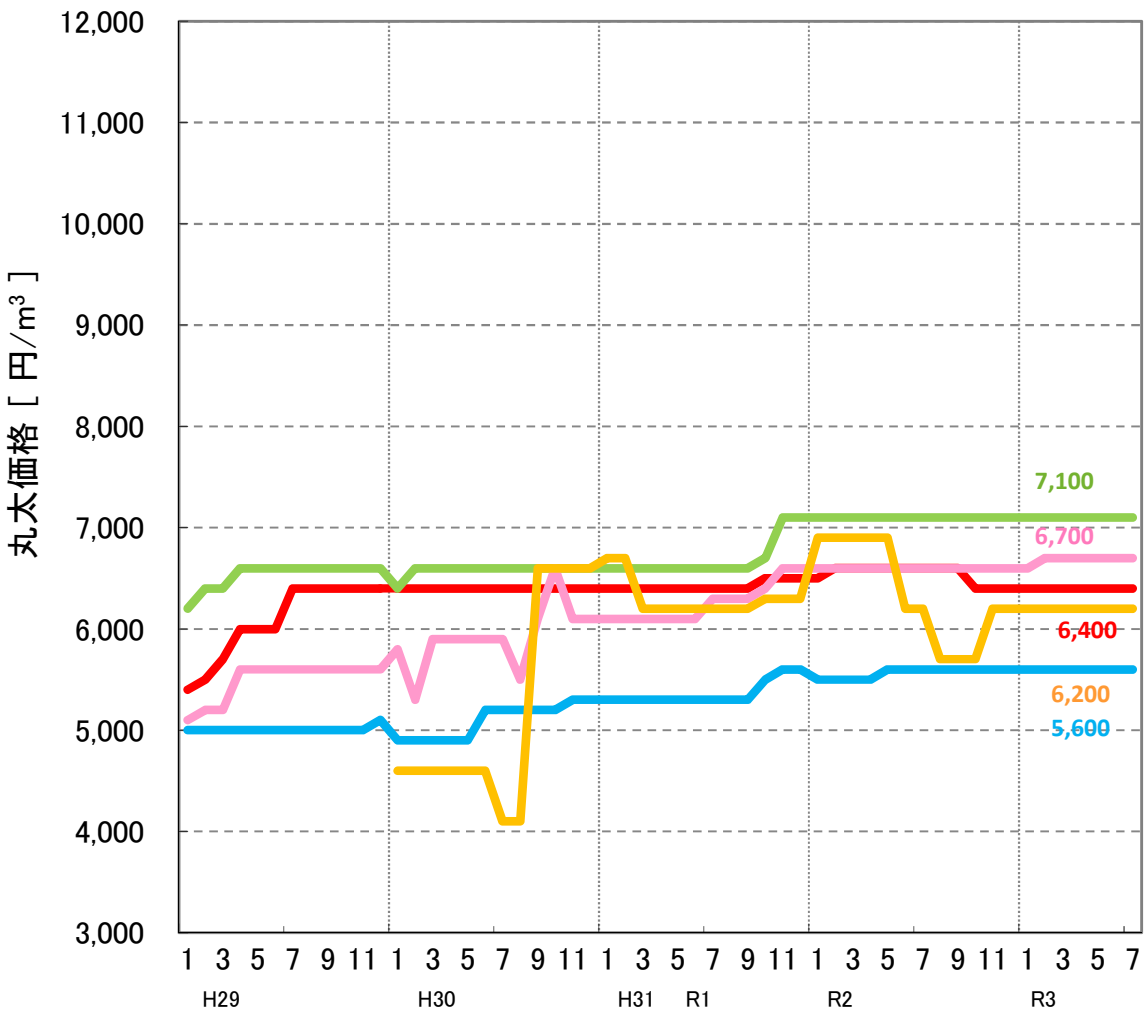


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は工場着価格。
 ※ 平成30年1月に調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

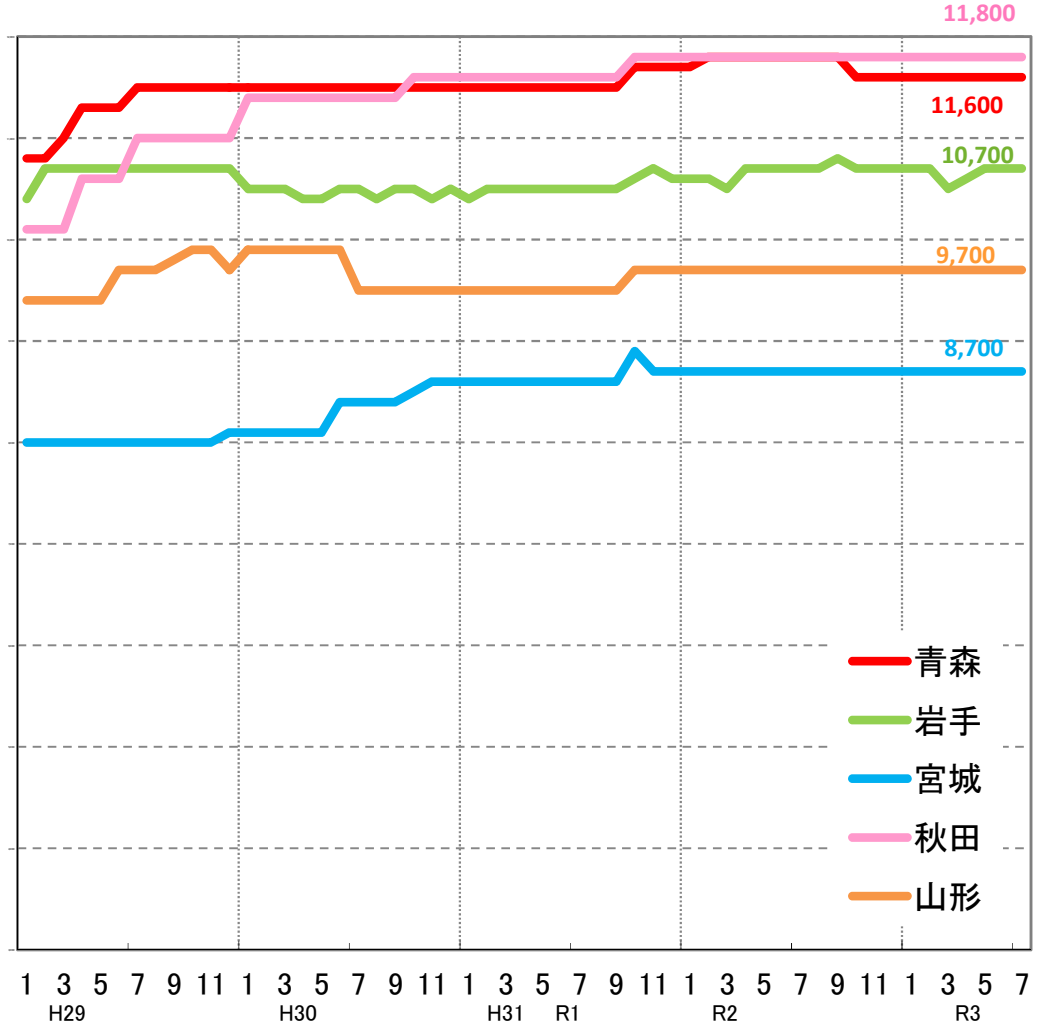
■ チップ用丸太価格の推移(平成29年1月～令和3年7月)

○ 針葉樹・広葉樹丸太とも保合で推移。

針葉樹材



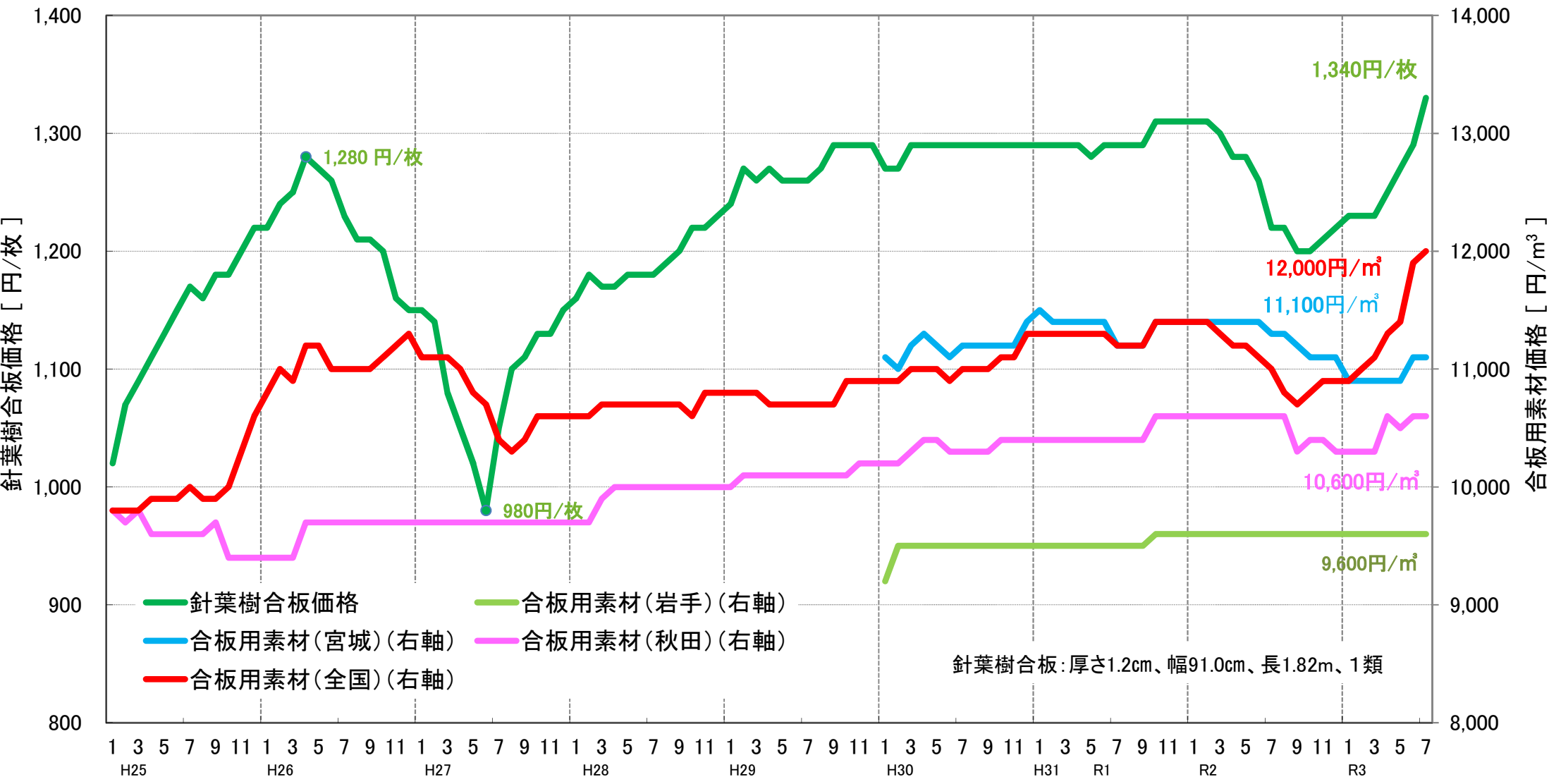
広葉樹材



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は工場着価格。
 ※ 平成30年1月に調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

針葉樹合板及び合板用素材価格の推移(平成25年1月～令和3年7月)

- 針葉樹合板価格は1,340円/枚。
- 合板用素材価格は岩手、宮城、秋田は保合で推移。



出典: 農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

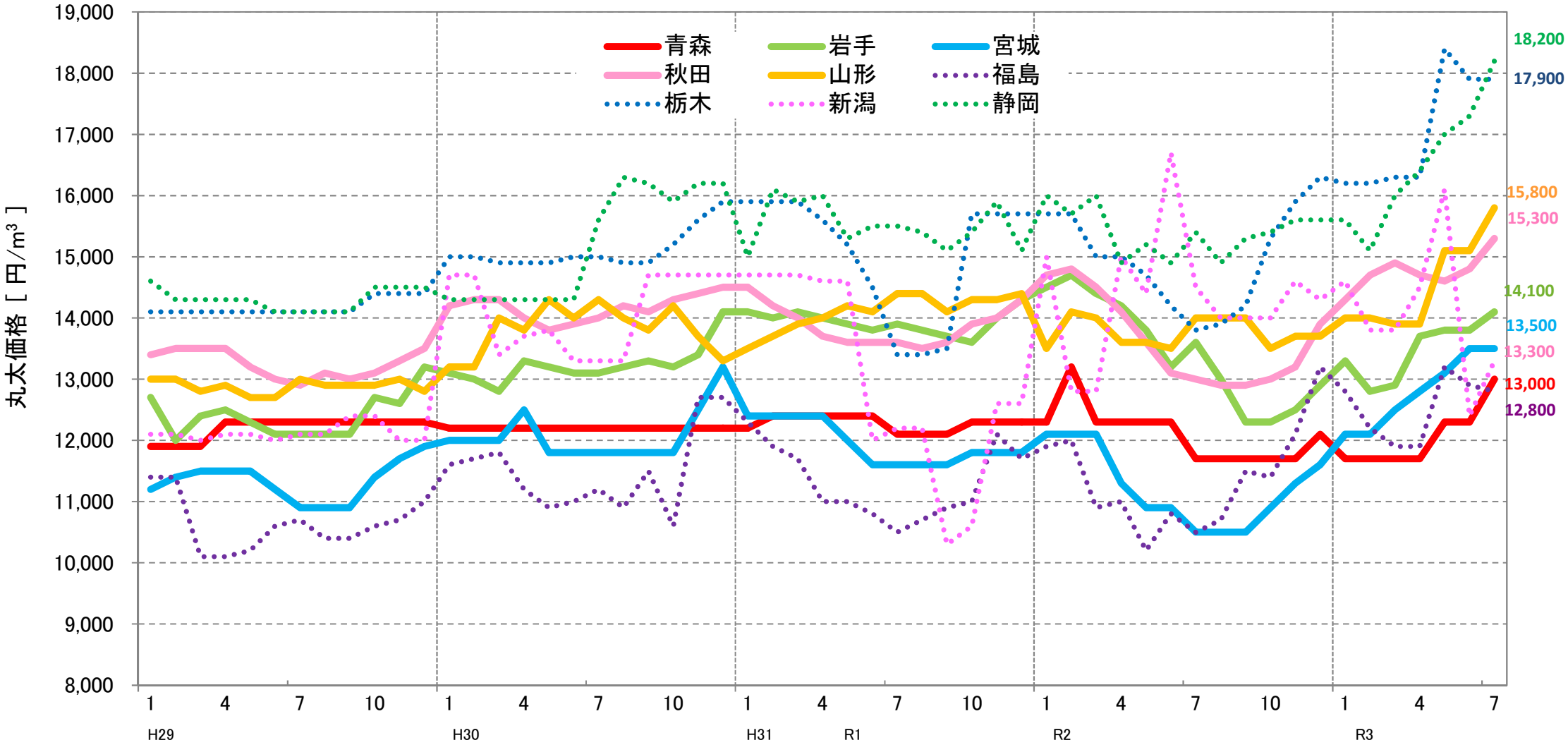
※ 平成30年1月に調査都道府県、調査対象工場の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

※ 針葉樹合板価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格。合板用素材価格は、合単板工場着購入価格である。

■ 関東地方との木材価格の比較(平成29年1月～令和3年7月)

○ 東北5県では青森・岩手・秋田・山形が強含み、宮城は保合で推移している。
 ○ 福島は弱含み、栃木は保合、静岡・新潟は強含みで推移している。

すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

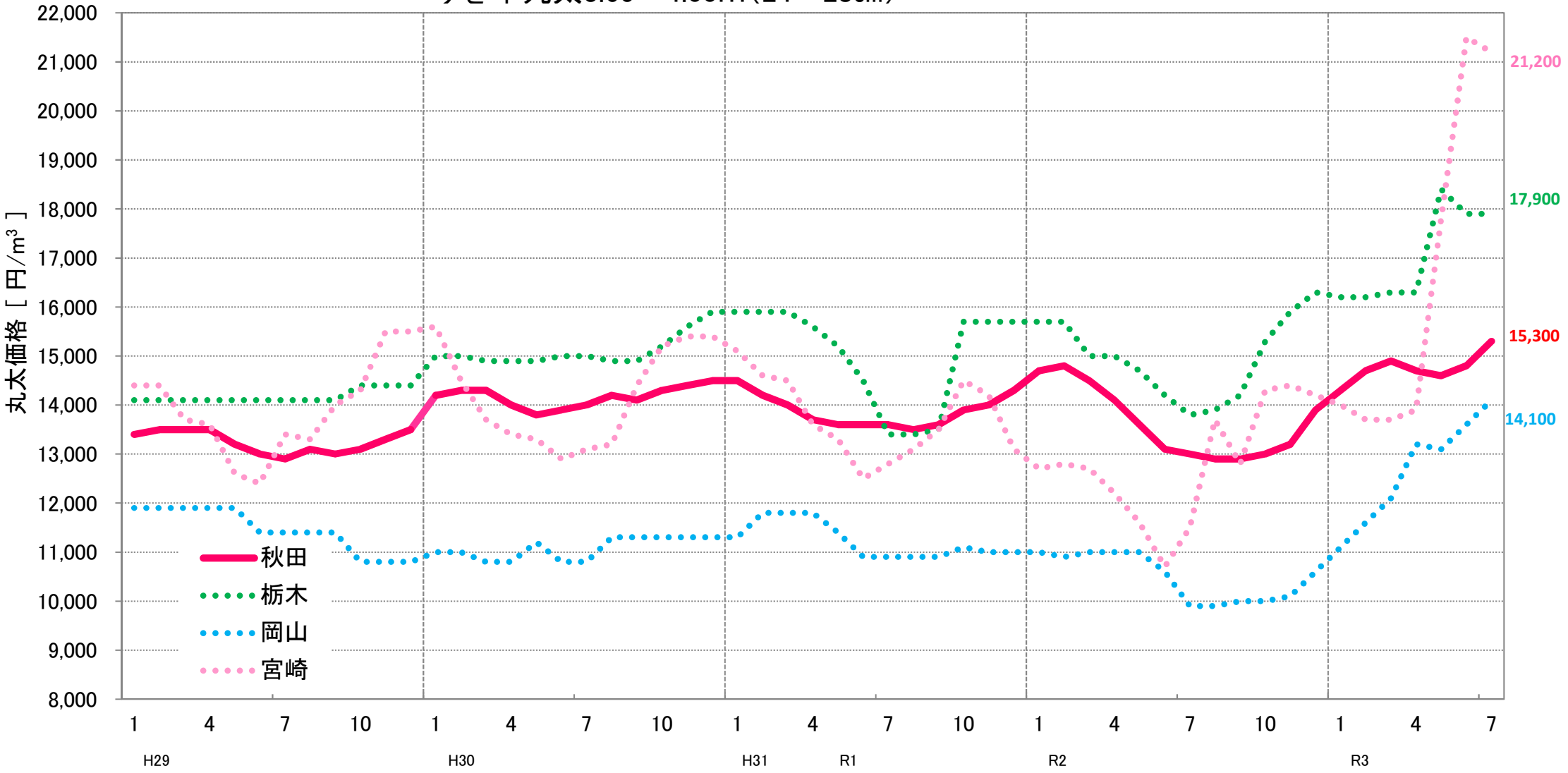


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は工場着価格
 ※ 平成30年1月に調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

■ 関東、関西、九州地方との木材価格の比較(平成29年1月～令和3年7月)

○ 秋田、岡山は強含み。栃木は保合、宮崎は弱含みで推移している。
 ○ 秋田と栃木では価格差が2,600円。

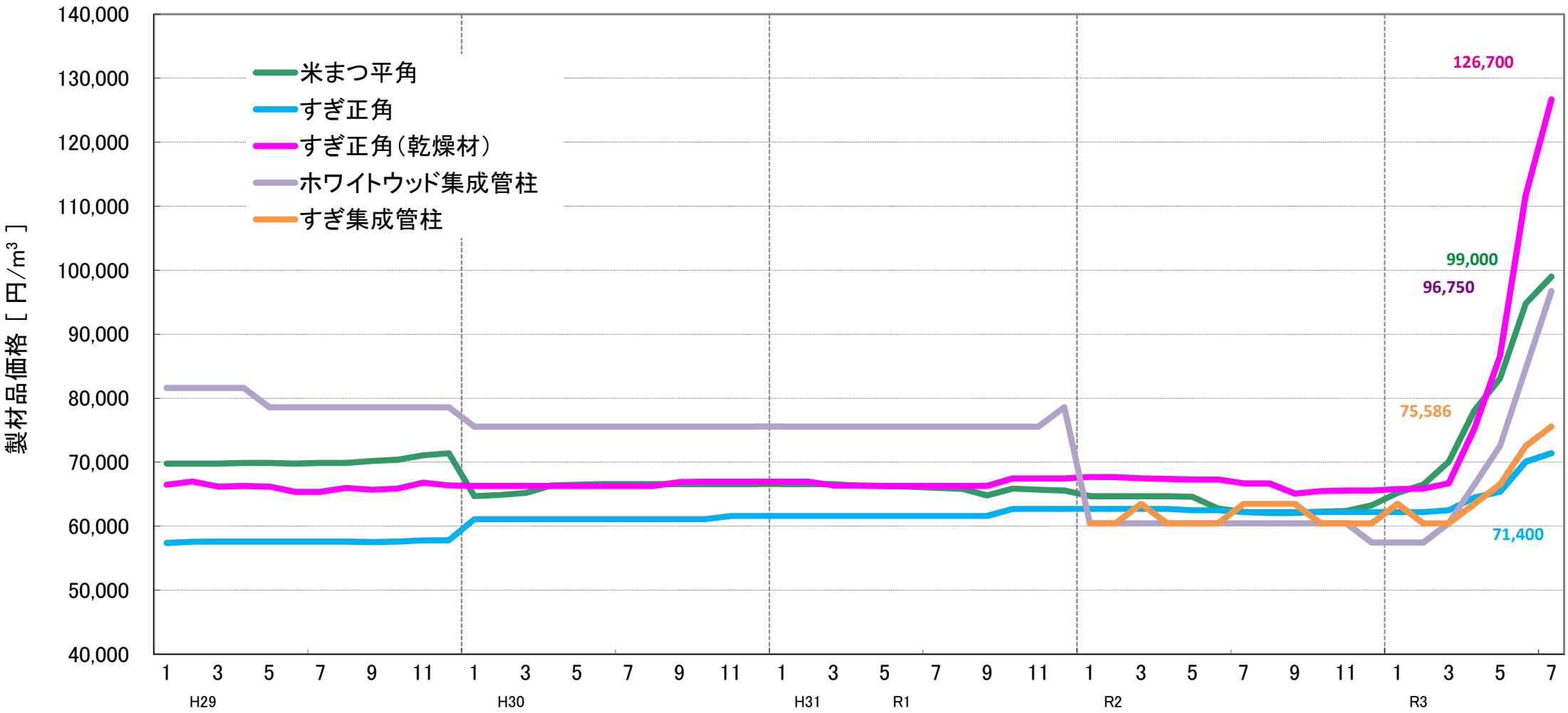
すぎ中丸太3.65～4.00m(24～28cm)



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は工場着価格
 ※ 平成30年1月に調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

■ 全国の製材品主要品目価格の推移(平成29年1月～令和3年7月)

○ 各製品とも値上がりしている。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

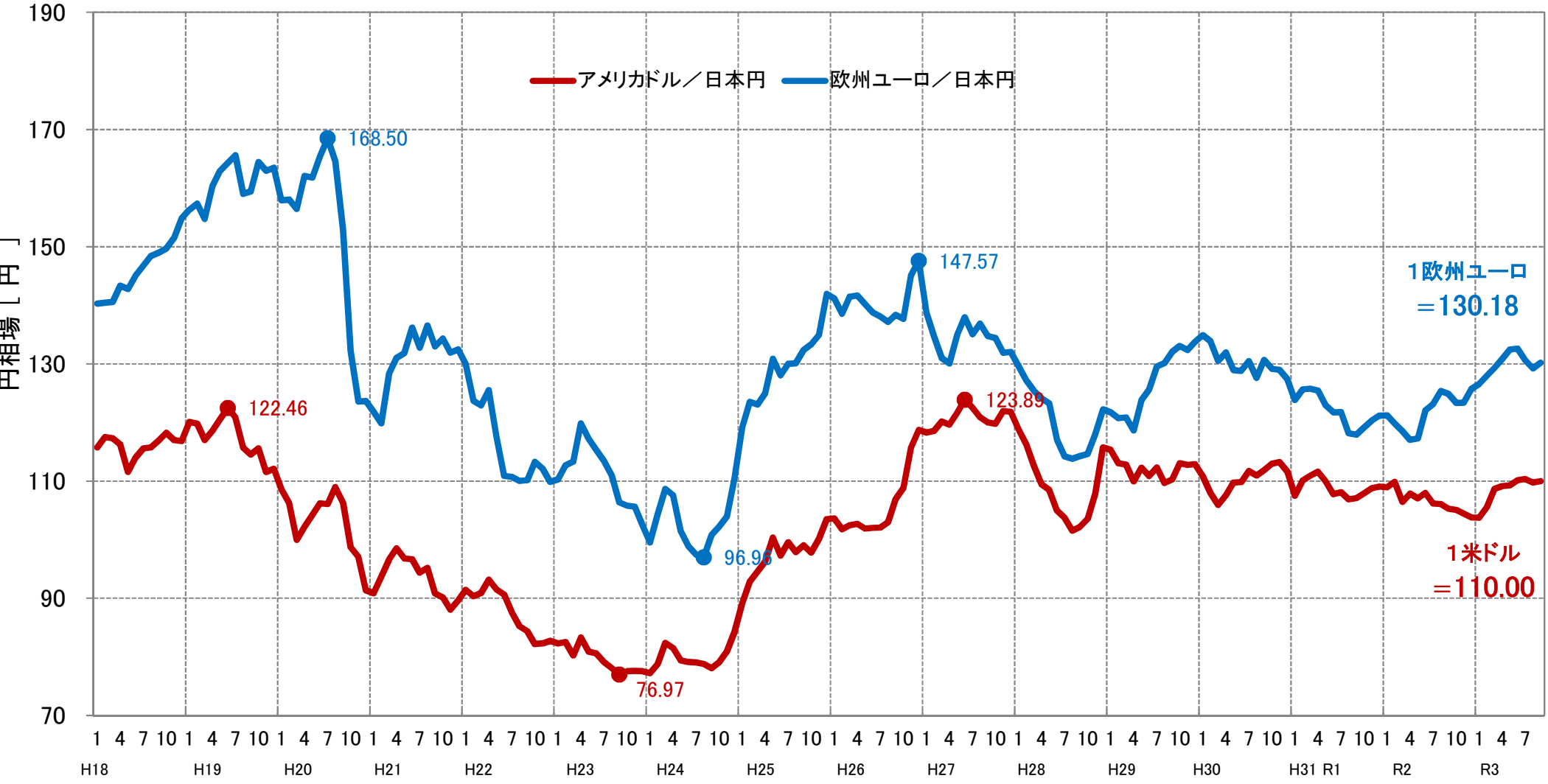
※1 価格は、令和2年1月以降のホワイトウッド集成管柱及びすぎ集成管柱は集成材工場出荷時の販売価格、それ以外は木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格となる。

※2 平成30年1月に調査都道府県、調査対象工場の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

※3 令和2年1月にホワイトウッド集成管柱は規格及び調査都道府県、調査対象工場の見直しを行い、調査価格も※1の通り変更となったことから、令和元年12月以前の数値とは接続しない。

為替レート推移 (平成18年1月～令和3年9月7日)

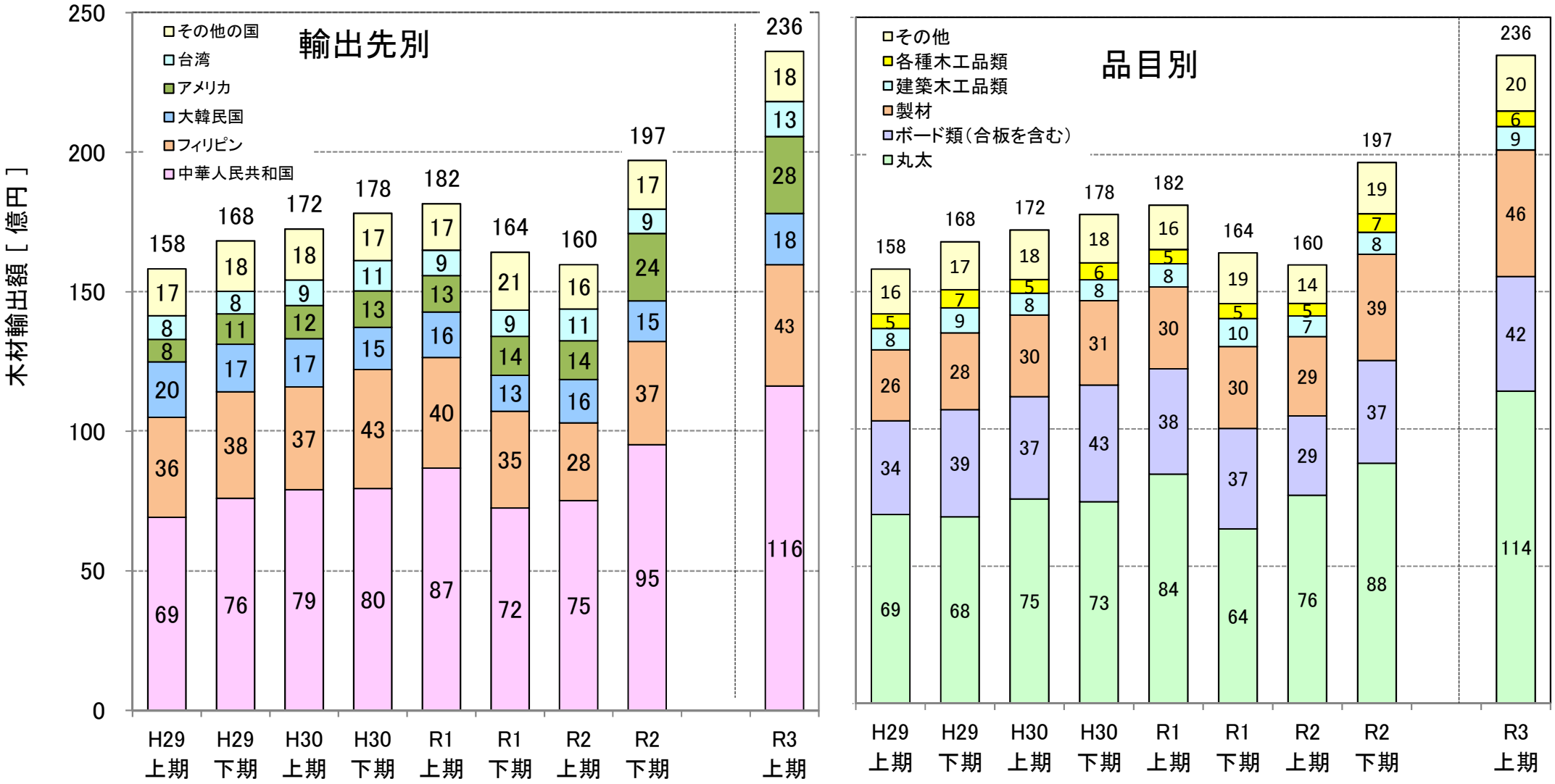
○ 米ドルは、9月7日現在110円台。
 ○ 欧州ユーロは、9月7日現在130円台。



出典：Yahoo!ファイナンス (毎月の値は月間の最高値と最低値の平均)

■ 輸出先別及び品目別の木材輸出額の推移(全国)

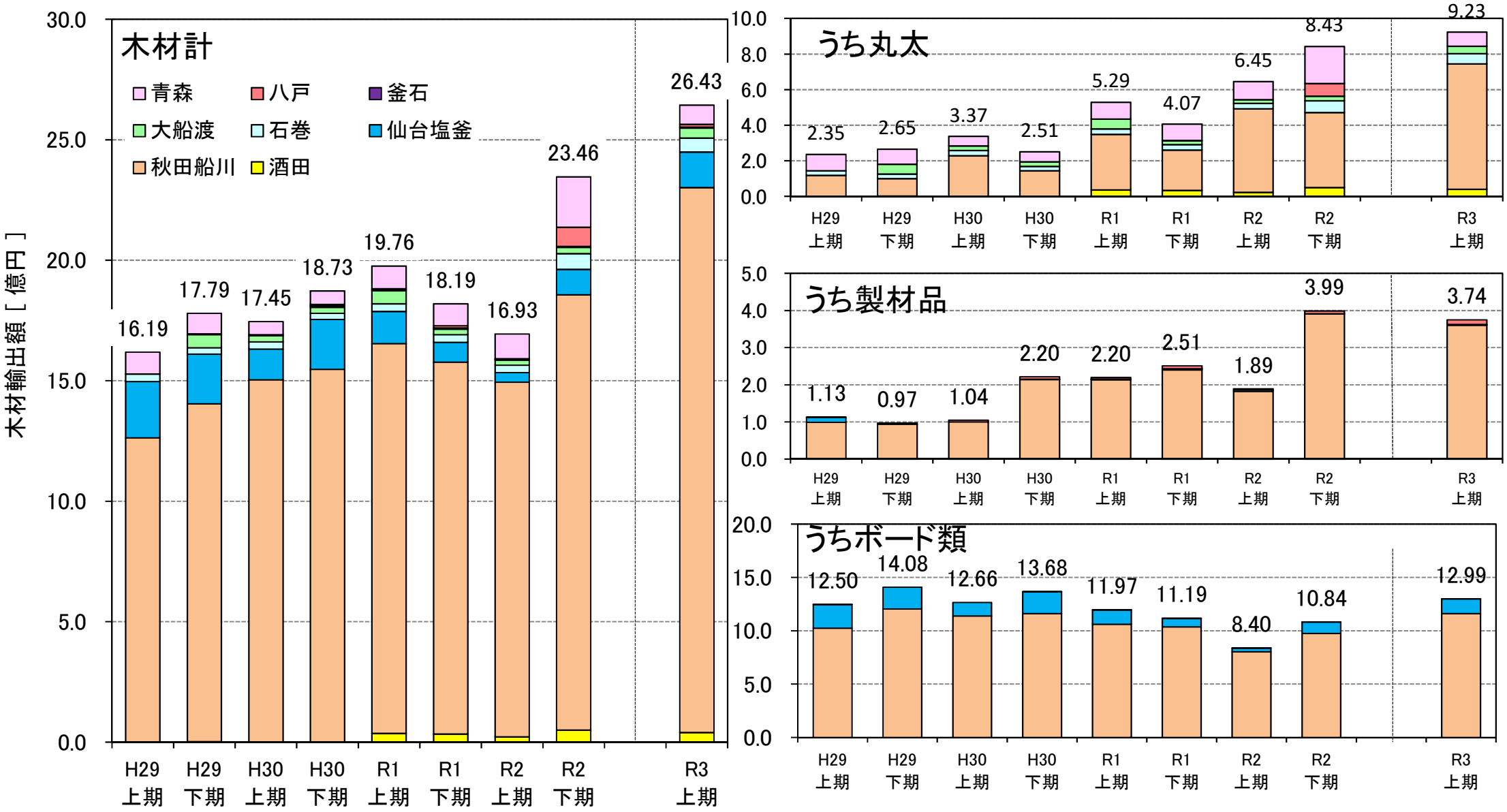
- 木材輸出額はR3年上期は前年同期と比較して+48%となっている。
- R3年上期の主要相手国は、中国、フィリピン、アメリカ、韓国、台湾となっている。
- 品目別輸出額では丸太が最も高く、次いで製材、ボード類となっている。
- R3年上期を前年同期と比較すると丸太が+50%、製材が+60%、ボード類が+44%となっている。



出典:財務省「貿易統計:統計品別国別税関別一覧表」

■ 東北5県における木材輸出額の推移

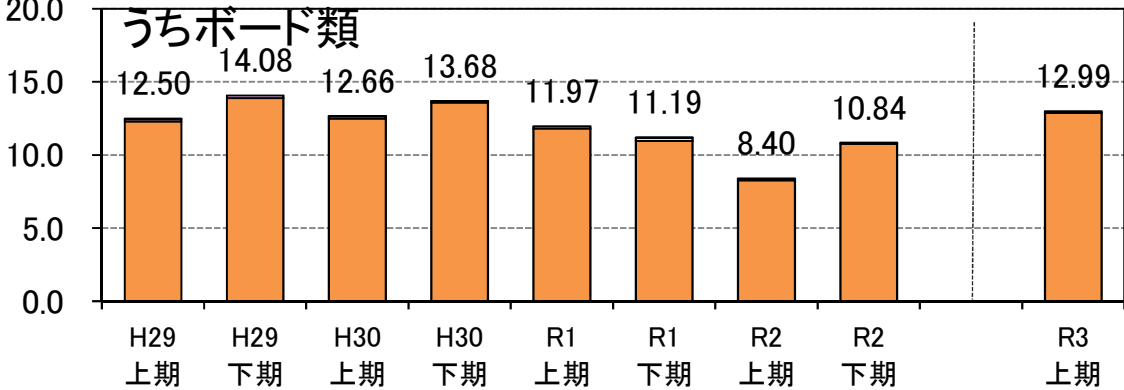
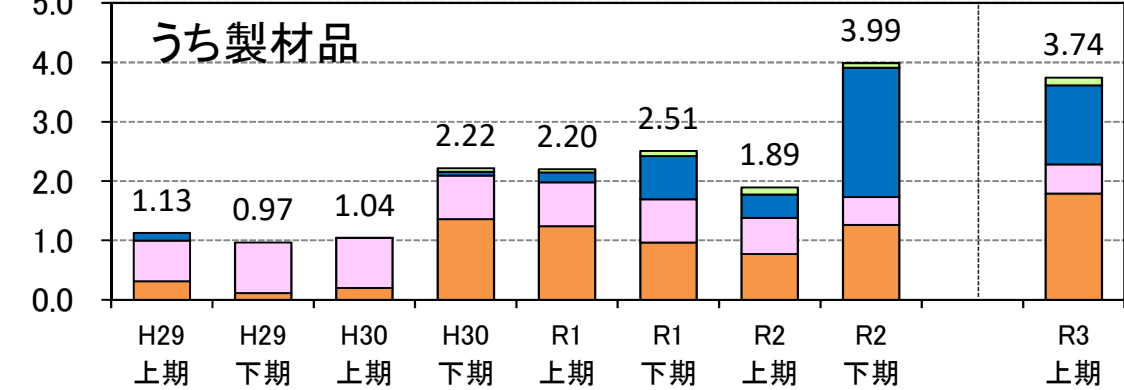
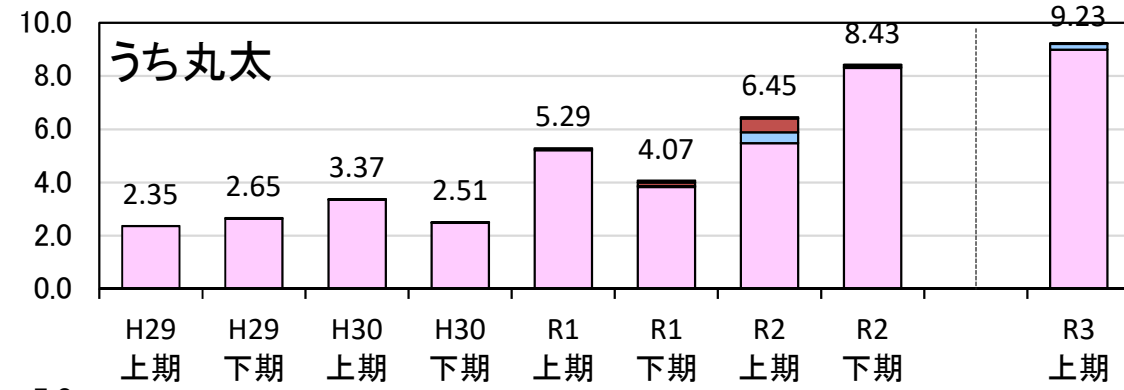
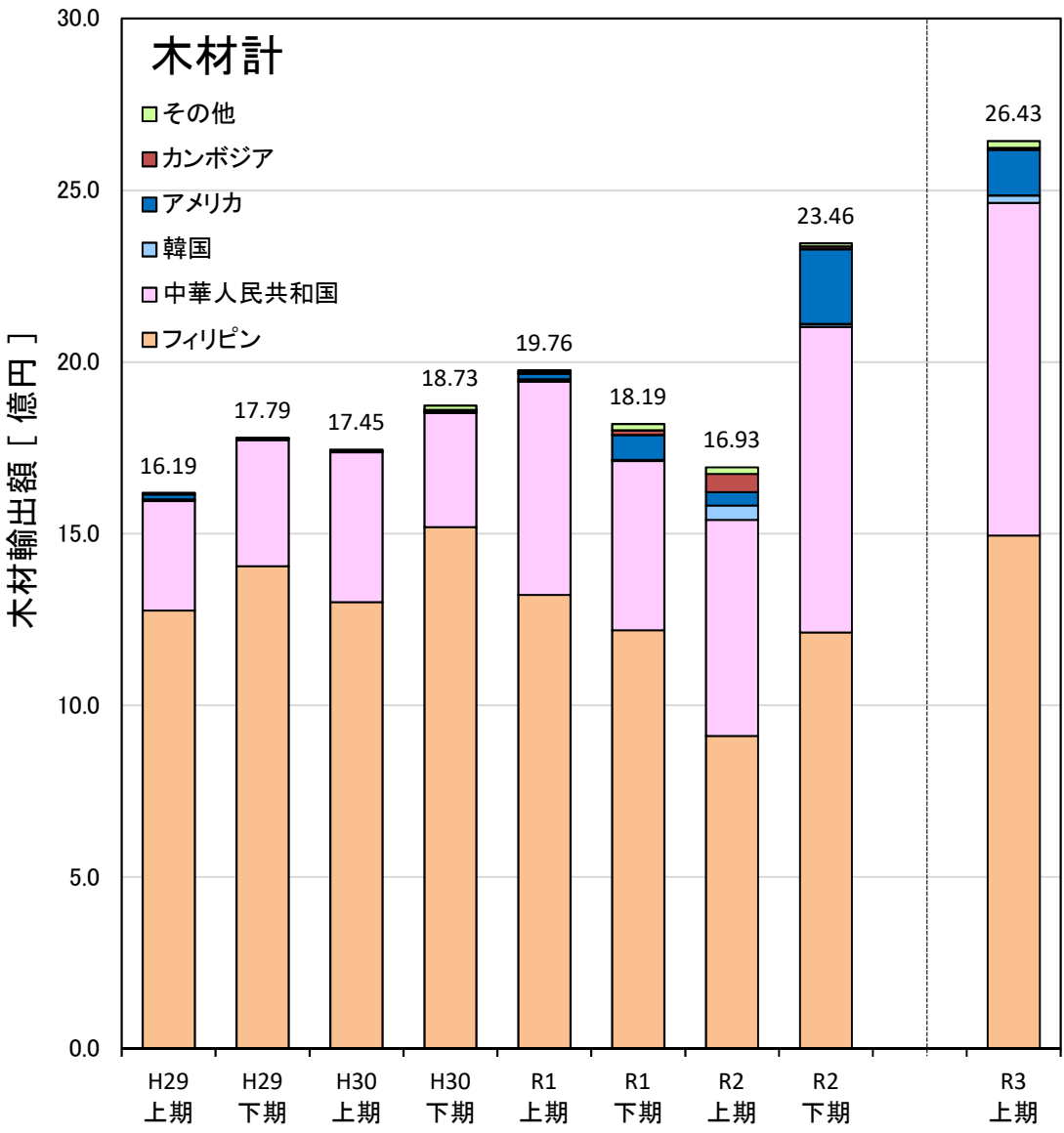
○ 東北5県におけるR3年上期の木材輸出額は前年同期と比較して+56%となっている。
 ○ R3年上期と前年同期を品目別に比較すると丸太が+43%、製材が+98%、ボード類が+55%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

■ 東北5県における輸出先別の木材輸出額の推移

○ R3年上期の主要相手国は、フィリピンが最も高く、次いで中国、アメリカとなっている。
 ○ 品目別では丸太は中国が最も多く、製材品、ボード類はフィリピンが最も高い。

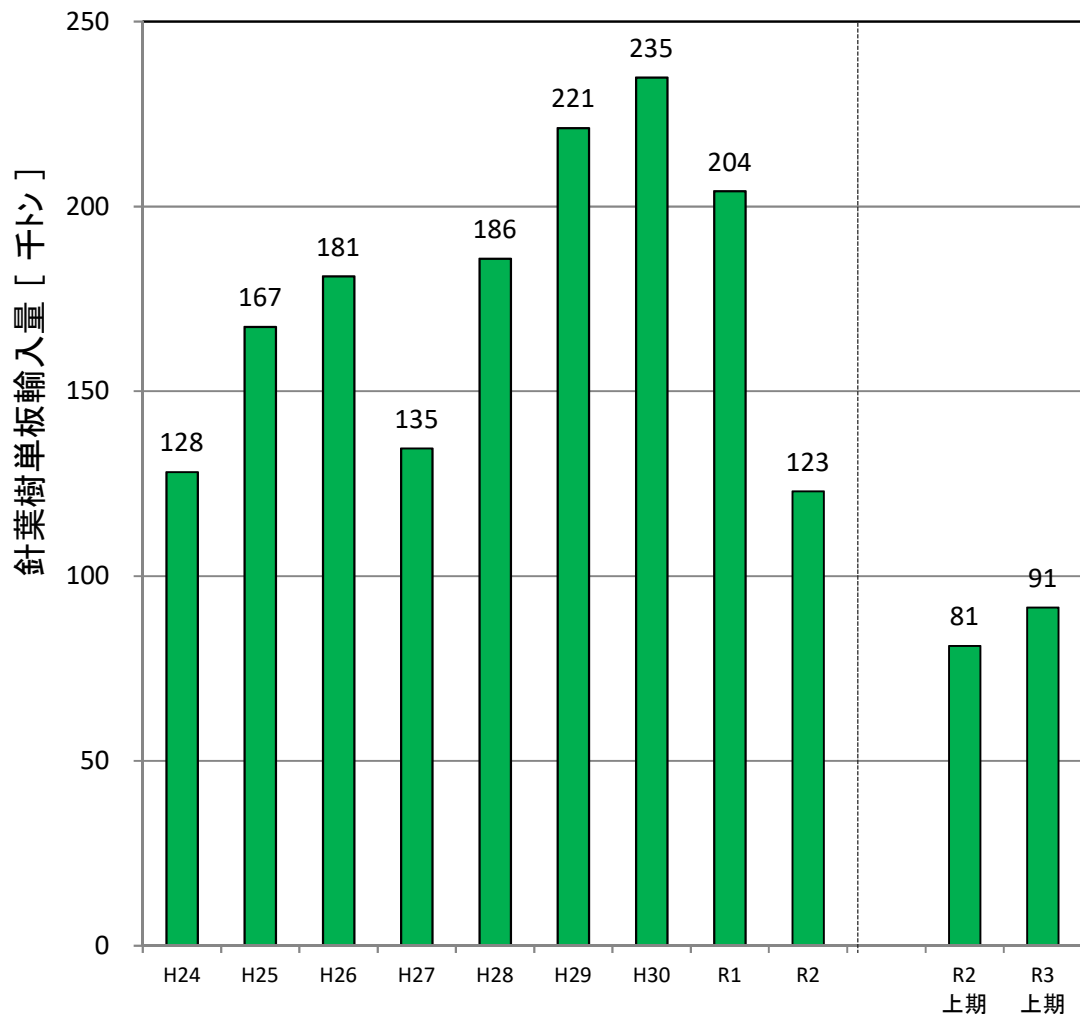


出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

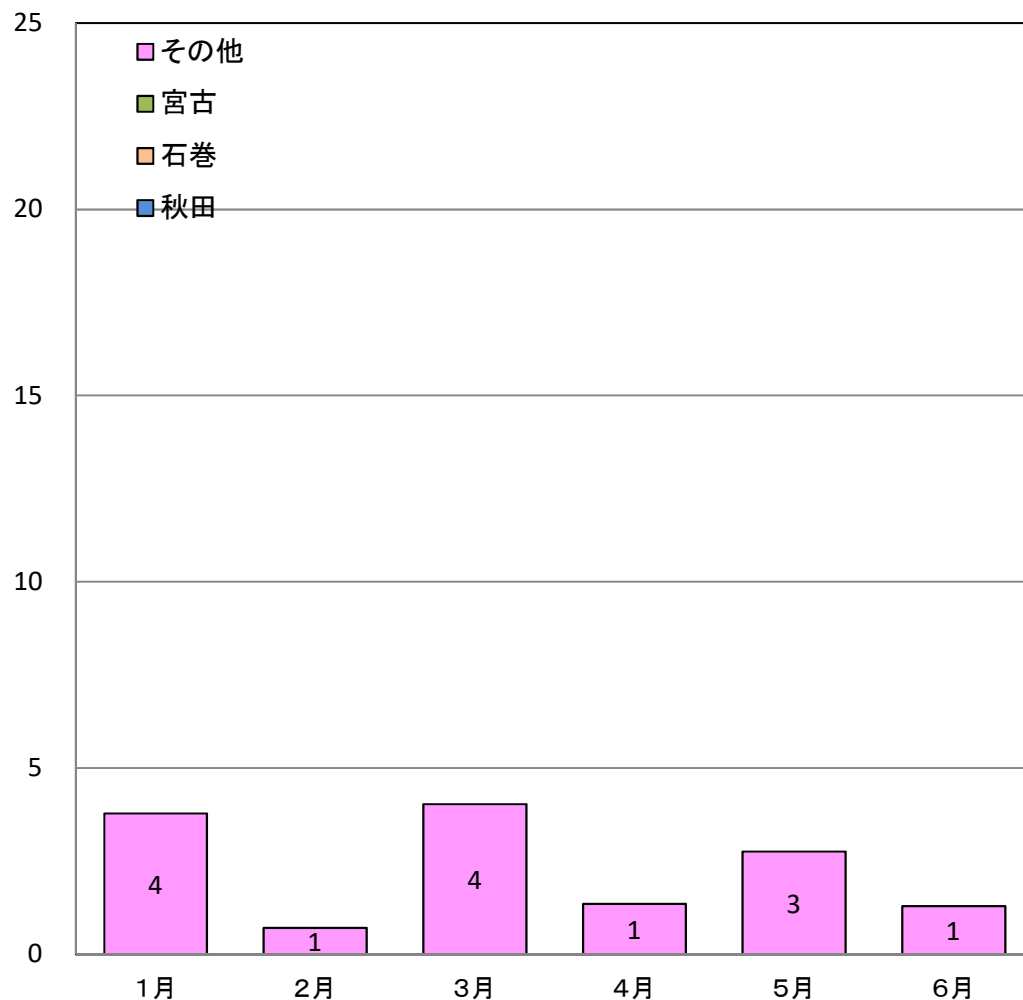
ロシアからの針葉樹単板輸入量の推移

- ロシアからの針葉樹単板輸入量は、R3上期は前年同期と比較すると+13%となっている。
- R3年上期の港別輸入量は東北の港での数量は0となっており、輸入が確認できたのは木更津、新潟、境、七尾であり、4~6月期の値はすべて木更津であった。

針葉樹単板(ロシア)



月別港別輸入量



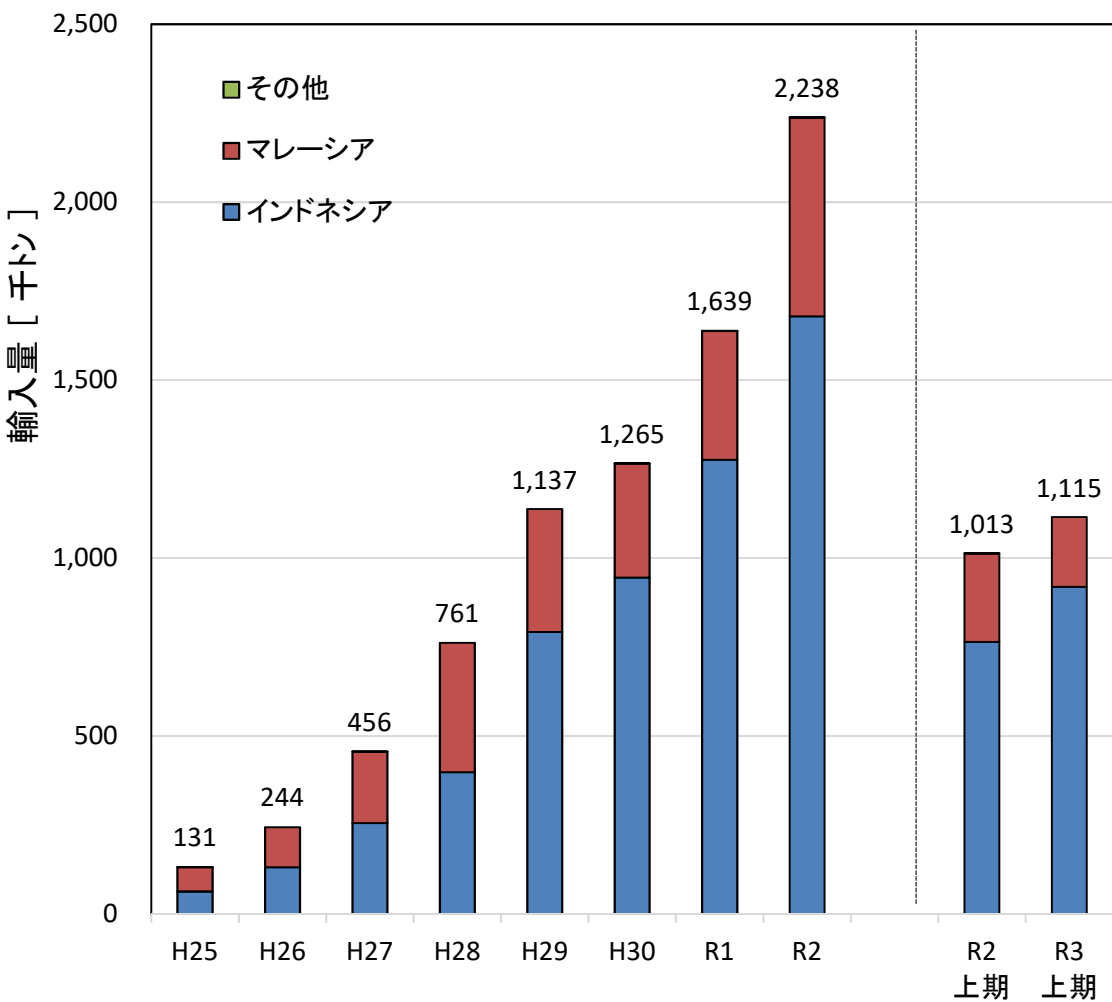
出典: 財務省「貿易統計」より、左図「品別国別表」、右図「統計品別国別税関別一覧表」

注: 税関別の数値は一部公表されないことがあるため、全国分の貿易統計の数字と税関別の数字は一致しない場合がある

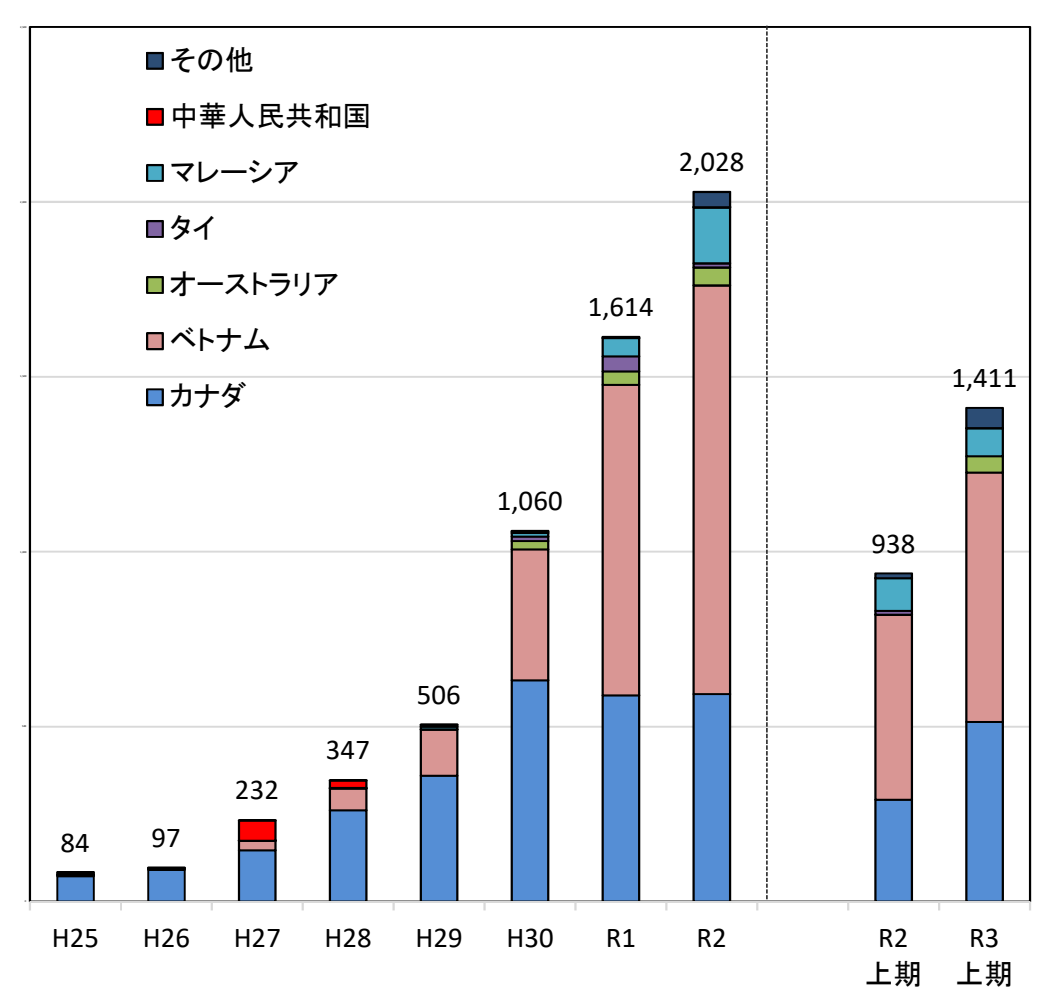
PKS・木質ペレットの輸入量の推移

- PKS輸入量は年々増加しており、R3年上期を昨年同期を比較すると+10%となっている。
- 主な輸入相手国はインドネシア(82%)、マレーシア(18%)となっている。
- 木質ペレット輸入量は年々増加しており、R3年上期と昨年同期を比較すると+50%となっている。
- 主な輸入相手国はベトナム(51%)、カナダ(36%)となっている。

PKS



木質ペレット



出典：財務省「貿易統計：品別国別統計」